

きみつの教育

令和3年度



君津市教育委員会

君津市民憲章

(昭和51年10月1日制定)

豊かな伝統と、明るい未来をもつわたくしたち君津市民は、たがいに手を取りあい、やすらぎのある住みよいまちをつくるため、この市民憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし、水と緑の美しいまちをつくりましょう
- 1 健やかに働き、若さみなぎるまちをつくりましょう
- 1 笑顔といたわりで、心のふれあうまちをつくりましょう
- 1 知性をみがき、薫り高い文化のまちをつくりましょう
- 1 広い視野と英知で、世界に伸びるまちをつくりましょう

君津市民の歌

(昭和51年9月1日制定)

作詞 森 菊蔵
作編曲 粕林 正一

1. 君津のまちに 日が昇り
早蕨 萌える 谷がある
さくら並木の 鹿野山
ながれは 小糸 小櫃川
ああ わがまちは 君津市は
水とみどりの 若いまち
2. 君津のまちに 風薫り
白鳥 あそぶ 湖がある
古い歴史の 周准 望陀
おもかげのこす 城がある
ああ わがまちは 君津市は
平和たたえて 生きるまち
3. 君津のまちに たくましく
あしたへ伸びる 夢がある
夜空かがやく 鉄の火に
世界をめざす 意気がある
ああ わがまちは 君津市は
こころひとつに すすむまち

目 次

I	君津市の概要	1
II	教育行財政	
1	教育委員会の沿革	3
2	教育長・教育委員	7
3	教育委員会議	8
4	事務局及び教育機関の組織機構と事務分掌	8
5	教育施策	11
6	教育費予算の内訳	13
7	重点事業及び主要施策別予算	15
III	学校再編	20
IV	学校教育	
1	学校教育指導指針	24
2	小中学校研究主題一覧	32
3	市内小学校及び中学校の状況	
1.	学校一覧	33
2.	学校在籍教職員数	35
3.	中学校等卒業者の進路状況	37
4.	児童・生徒の体位	38
5.	児童・生徒の体力・運動能力	39
4	教育センター活動の充実	40
5	学校給食の取組み	42
6	学校施設の整備	45
V	生涯学習	
1	社会教育の推進	46
2	公民館活動	
1.	君津中央公民館	48
2.	八重原公民館	51
3.	周西公民館	53
4.	周南公民館	56
5.	小糸公民館	58
6.	清和公民館	60
7.	小櫃公民館	62
8.	上総公民館	64
9.	上総地域交流センター	67
3	中央図書館	68
4	生涯学習交流センター	70
VI	文化・芸術の振興	
1	事業計画	72
2	市内指定文化財の状況	76
3	市民文化ホールの概要	77
4	久留里城址資料館の概要	78
5	漁業資料館の概要	79
VII	体育振興	
1	学校体育の充実	80
2	生涯スポーツの充実	82
資料編		
1	学校給食共同調理場の概要	86
2	社会教育施設等の状況	87
3	学校体育施設開放利用状況の推移	89
4	スポーツ広場利用状況一覧表	90

I 君津市の概要

1 沿革

原始 本市で人類が生活を始めたのは八重原地区の畑沢遺跡で、約1万5千年前の関東ローム層中から約200点の旧石器が見ついている。

縄文時代になると、本市を流れる小櫃川・小糸川流域の丘陵や台地上に多くの集落が形成されるようになる。三直新関の三直貝塚では、約4千5百年から3千年前の土木工事の一端を知ることのできる環状盛土遺構が発見され、遺物として土器のほか祭祀用具としての土偶、石棒などが出土している。

弥生時代には、広大な河岸段丘上に水田が造営されるようになり、小糸川下流の常代遺跡で約2千百年前の農耕具である鋤・鋤、農耕祭祀に使われた舟形・鳥形・剣形などの木製品が発掘されている。

古代 古墳時代については、市内各地に多数の、しかも規模の大きい古墳が存在することから有力な豪族の支配下にあったことは確実である。日本書記によれば成務天皇年間の行政改革により、国・郡が定められ国造がおかれたとされる。本市は「総の国」11郡中「須恵の国」「馬来田の国」に属し、天津彦根命の後裔の国造の支配下にあったと記されている。その後、大化年間の改新により、「総の国」が分かれた際、「上総の国」の「周淮郡」「畔蒜郡」となり、郡字赤磯に「周淮郡」郡衙がおかれ、初代郡司は藤原房前公であったと伝えられている。平安期に入ると地方政治の混乱により、上総の地は数次の戦乱にみまわれ不明な点も多いが、周東荘、周西荘、秋元荘、畔蒜荘等の荘園が成立し、多くは桓武平氏とその一族、上総氏の支配下に属したと思われる。

中世 治承4年頼朝が鎌倉入府後、ごく初期は上総氏、その滅亡後は千葉氏等の幕府御家人の所領となった。室町期の関東は、鎌倉公方の足利氏派と関東管領の上杉氏派に分かれ対立し、戦乱の様相をおびていく。市域では天文年間以降、多くは里見氏の支配下にあったが、関東の覇者、小田原北条氏との抗争の戦場となり民衆は大いに苦しんだ。

近世 天正18年秀吉の天下統一に際しての里見氏削封後は家康の所領となり、慶長8年江戸開府後は、小糸川沿岸地区の大部分は幕府直轄地（天領）として、小櫃川沿岸地区は多少の移動があるも、そのほとんどは、川越藩、前橋藩の分領及び久留里藩所領として明治に至った。

近代 明治元年王政復古の大業になるが、明治4年廃藩置県により木更津県、ついで千葉県に所属となった。明治22年の町村制の施行により、八重原村、周西村、貞元村、周南村、中村、小糸村、秋元村、三島村、小櫃村、久留里町、松丘村、亀山村の12ヶ町村が誕生。昭和18年八重原村、周西村が合併し君津町となり、さらに昭和29年、30年町村合併促進法により君津町（君津町、貞元村、周南村）、小糸町（中村、小糸村）、清和村（秋元村、三島村）、小櫃村、上総町（久留里町、松丘村、亀山村）3町2村となった。

その後、京葉臨海工業地帯の造成が進み、農漁業中心ののどかな君津町にもその波紋が

及び、昭和36年八幡製鐵（現日本製鐵）の進出が決定し、京葉臨海工業地帯の南部拠点として、一躍脚光を浴びるようになった。進出した八幡製鐵は、巨額の固定資産税を納めたが、人口規模の小さい町への還元はわずかで、そのほとんどが国・県に吸収されていた。

そこで、人口規模の増大をはかり、これを地元町村に還元しようと昭和44年6月君津郡市広域行政連絡協議会で協議の結果、君津町、小糸町、清和村、小櫃村、上総町による対等合併が昭和45年9月28日に実現し、合併後1年を経ずして昭和46年9月1日市制施行、千葉県下25番目の君津市が誕生し今日に至っている。

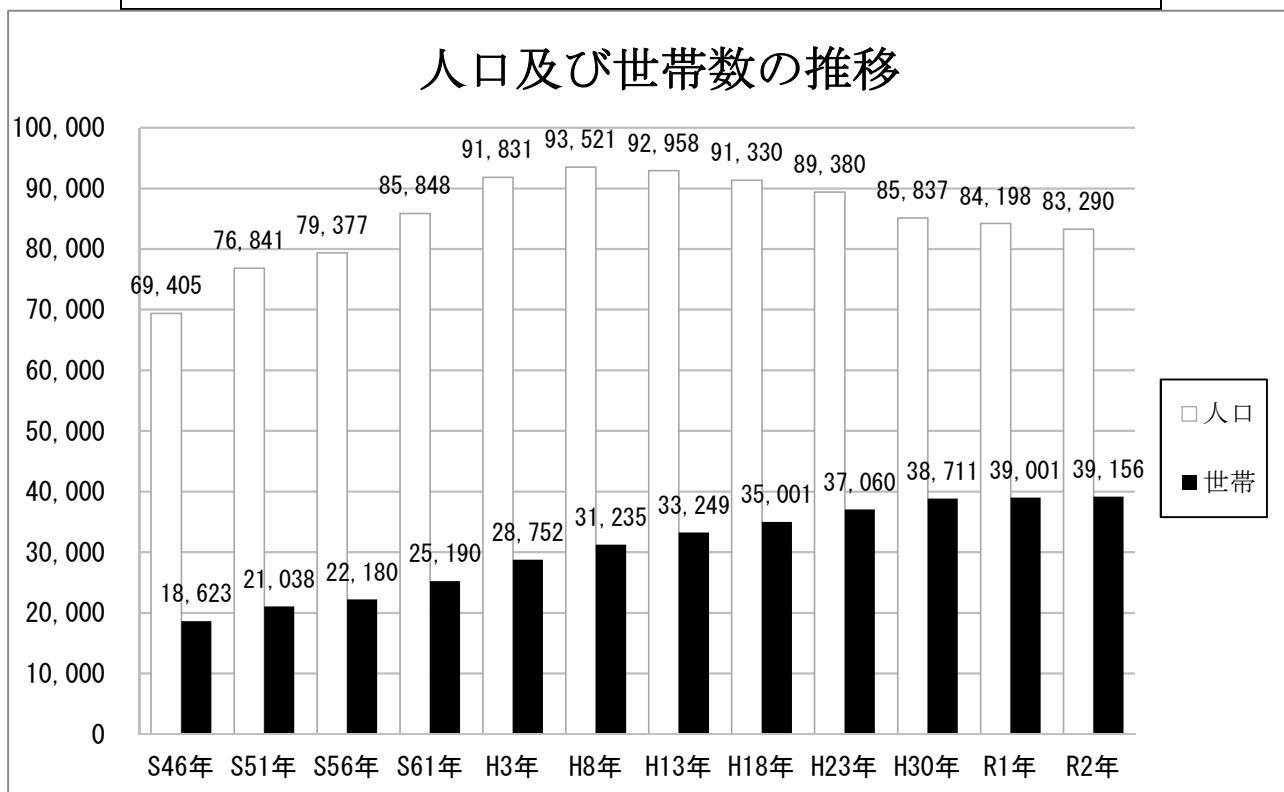
現在、君津市は「人が集い活力あふれる健康都市きみつ」を将来都市像として、まちづくりに努めている。

2 位置・地勢

本市は千葉県のほぼ中南部に位置し、東京湾に面している。東部は、市原市及び大多喜町、西部は、富津市、南部は、鴨川市、北部は、木更津市に隣接しており房総丘陵に源を發する小櫃川（88km）、小糸川（80km）がそれぞれ南東から北西に流れて東京湾にそそいでいる。

南東部地帯は、清澄山系の丘陵が連なり林業が、中央部地帯は、平坦な沃野がひらけ、恵まれた水利による農業がそれぞれ営まれ、西部の東京湾岸の埋立地には日本製鐵及び関連工場が林立し、京葉臨海工業地帯の南部の拠点となっている。

面積	318.81 km ²	広ぼう	東西 27.3km	南北 22.6km
周囲	118.20 km	海岸線	9.0km	



※各年9月1日現在値

Ⅱ 教育行財政

1 教育委員会の沿革

昭和45年	9月27日	5か町村合併に伴い旧町村教育委員会解散
昭和45年	9月28日	臨時教育委員会設置 臨時委員長・鈴木文六 委員・長谷川友彌・前田京二 鈴木重紀 臨時教育長・竹内金兵衛就任
		新君津町教育委員会事務局発足 庶務課、学校教育課、社会教育課設置
昭和45年	11月27日	臨時教育委員会解散
昭和45年	11月28日	君津町教育委員会設置 委員・竹内金兵衛、長谷川友彌、佐久間久迺弥、 御幸尾正造、真田達三郎就任 委員長等選任 委員長・長谷川友彌、委員長職務代理者・御幸尾正造就任 教育長・竹内金兵衛就任
昭和46年	4月1日	坂田小学校新設開校、教育センター設置
昭和46年	7月20日	小糸公民館新設開館
昭和46年	9月1日	市制施行君津市教育委員会設置 事務局機構改革・保健体育課新設
昭和47年	4月11日	坂田共同調理場給食開始
昭和47年	7月28日	清和公民館新設開館
昭和47年	12月25日	委員長等改選 委員長・長谷川友彌、委員長職務代理者・御幸尾正造就任
昭和48年	4月1日	周西幼稚園人見175-28に移転
昭和48年	6月28日	周南公民館新設開館
昭和48年	12月22日	委員長等改選 委員長・長谷川友彌、委員長職務代理者・佐久間久迺弥就任
昭和49年	11月28日	教育長・竹内金兵衛再任
昭和49年	12月9日	委員長職務代理者改選・山口保明就任
昭和49年	12月20日	小櫃公民館新設開館
昭和49年	12月25日	委員長改選・長谷川友彌再任
昭和50年	4月1日	南子安小学校新設開校
昭和50年	5月1日	平山共同調理場給食開始
昭和50年	12月23日	委員長職務代理者改選・柳井良次就任
昭和50年	12月25日	委員長改選・長谷川友彌再任
昭和51年	8月1日	事務局機構改革 教育次長制実施
昭和51年	8月9日	市役所庁舎新築落成 (事務局、教育センター市庁舎内に移転)
昭和51年	9月27日	委員長等改選 委員長・柳井良次、委員長職務代理者・佐久間久迺弥就任
昭和52年	9月27日	委員長等改選 委員長・佐久間久迺弥、委員長職務代理者・柳井良次就任
昭和52年	12月15日	委員長職務代理者・森久幸就任
昭和53年	7月1日	移動図書館「ひまわり号」運行開始、久留里スポーツ広場オープン
昭和53年	9月27日	委員長等改選 委員長・佐久間久迺弥、委員長職務代理者・森久幸就任
昭和53年	11月27日	教育長・竹内金兵衛退任
昭和53年	11月28日	教育長・長嶋昇就任 委員長等改選 委員長・森久幸、委員長職務代理者・木村博次就任
昭和54年	4月1日	久留里城址資料館設置、清和スポーツ広場オープン

昭和54年 4月17日 小糸スポーツ広場オープン

昭和54年12月20日 委員長等改選 委員長・木村博次、委員長職務代理者・安西正男就任

昭和55年 3月30日 君津中央公民館周西分館新設開館

昭和55年12月16日 委員長等改選 委員長・安西正男、委員長職務代理者・佐久間久迺弥就任

昭和56年 3月26日 久留里城址資料館博物館に登録（登録番号第14号）

昭和56年12月16日 委員長等改選 委員長・佐久間久迺弥、委員長職務代理者・森久幸就任

昭和57年11月27日 教育長・長嶋昇退任

昭和57年11月29日 委員長等改選 委員長・森久幸、委員長職務代理者・木村博次就任

昭和57年12月 6日 教育長・石井正宣就任

昭和58年 3月26日 大野台スポーツ広場オープン

昭和58年 4月 1日 北子安小学校新設開校、地域改善対策集会所（下町集会所）設置

昭和58年 7月 1日 市民体育館（図書室、視聴覚室）設置

昭和58年11月29日 委員長等改選 委員長・木村博次就任委員長職務代理者・安西正男就任

昭和59年 4月 1日 事務局機構改革 保健体育課を社会体育振興室に変更

昭和59年11月29日 委員長等改選 委員長・安西正男、委員長職務代理者・渡邊武志就任

昭和60年 4月 1日 周西南中学校新設開校（9月20日入校）

昭和60年11月29日 委員長等改選 委員長・渡邊武志、委員長職務代理者・森久幸就任

昭和61年 6月 6日 小櫃スポーツ広場オープン

昭和61年 7月21日 久留里市民プールオープン

昭和61年11月29日 委員長等改選 委員長・森久幸、委員長職務代理者・木村博次就任

昭和61年12月 6日 教育長・石井正宣再任

昭和61年12月22日 委員長職務代理者・安西正男就任

昭和62年 4月 1日 八重原中学校新設開校（8月7日入校）

事務局機構改革 社会体育振興室を社会体育課に変更、市史編さん室新設

昭和62年11月29日 委員長等改選 委員長・緒志徳次、委員長職務代理者・安西正男就任

昭和63年 3月31日 香木原小学校廃校（坂畑小学校に統合）

昭和63年 4月 1日 漁業資料館設置

昭和63年11月29日 委員長等改選 委員長・安西正男、委員長職務代理者・渡邊武志就任

平成 元年 4月 1日 事務局機構改革 教育部新設

平成 元年11月29日 委員長等改選 委員長・渡邊武志、委員長職務代理者・森久幸就任

平成 2年11月29日 委員長等改選 委員長・森久幸、委員長職務代理者・緒志徳次就任

平成 2年12月 5日 教育長・石井正宣退任

平成 2年12月 6日 教育長・宮崎正二就任

平成 3年11月29日 委員長等改選 委員長・緒志徳次、委員長職務代理者・渡邊秀夫就任

平成 4年11月29日 委員長等改選 委員長・渡邊秀夫、委員長職務代理者・藤平さだ子就任

平成 5年11月29日 委員長等改選 委員長・藤平さだ子、委員長職務代理者・伊田晴美就任

平成 6年 4月 1日 事務局機構改革 生涯学習推進室、文化課設置

外箕輪小学校新設開校（8月19日入校）

平成 6年12月 5日 教育長・宮崎正二退任

委員長等改選 委員長・伊田晴美、委員長職務代理者・法木 宏就任

平成 6年12月 6日 教育長・玉川重夫就任

平成 7年 4月 1日	事務局機構改革	社会体育課をスポーツ振興課に変更
平成 7年12月 5日	委員長等改選	委員長・法木 宏、委員長職務代理者・渡邊秀夫就任
平成 8年 4月 1日	事務局機構改革	図書館建設準備室設置
平成 8年12月 5日	委員長等改選	委員長・渡邊秀夫、委員長職務代理者・野村妙子就任
平成 9年 4月 1日	八重原公民館新設開館	
平成 9年12月 5日	委員長等改選	委員長・野村妙子、委員長職務代理者・佐藤和則就任
平成10年 4月 1日	松丘スポーツ広場オープン	
平成10年12月 5日	教育長・玉川重夫退任 委員長等改選	委員長・佐藤和則、委員長職務代理者・鎌田 誠就任
平成10年12月 6日	教育長・室 清三就任	
平成11年 3月31日	鹿野山小学校閉校	
平成11年 4月 1日	事務局機構改革	学校給食センターを学校教育課に統合し、生涯学習推進室、 社会教育課、文化課を統合し、生涯学習課に名称変更 適応指導教室設置
平成11年12月 5日	委員長等改選	委員長・鎌田 誠、委員長職務代理者・廣橋義敬就任
平成12年 4月 1日	事務局機構改革	図書館建設事務局設置
平成12年12月 5日	委員長等改選	委員長・廣橋義敬、委員長職務代理者・藤波陽四郎就任
平成13年12月 5日	委員長等改選	委員長・藤波陽四郎、委員長職務代理者・石井 洋就任
平成14年 3月31日	福野小学校閉校	
平成14年 3月31日	事務局機構改革	市史編さん室廃止
平成14年 9月30日	事務局機構改革	図書館建設事務局を廃止 君津・周南・小糸・清和・小櫃・上総・移動図書館を廃止
平成14年10月 1日	中央図書館新設開館により、周南・小糸・清和・小櫃・上総・体育館分室設置	
平成14年12月 5日	委員長等改選	委員長・石井 洋、委員長職務代理者・鈴木佐内就任
平成14年12月 6日	教育長・室 清三再任	
平成15年 4月 1日	事務局機構改革	庶務課を教育総務課に名称変更
平成15年12月 5日	委員長等改選	委員長・安藤昭雄就任、委員長職務代理者・鈴木佐内再任
平成16年12月 5日	委員長等改選	委員長・安藤昭雄再任、委員長職務代理者・宮寄順子就任
平成17年12月 5日	委員長等改選	委員長・安藤昭雄再任、委員長職務代理者・宮寄順子就任
平成18年 5月14日	周西公民館新設開館	
平成18年12月 5日	教育長・室 清三退任	
平成18年12月 6日	教育長・本吉貞夫就任	
平成18年12月15日	委員長等改選	委員長・木曾野正勝、委員長職務代理者・鈴木佐内就任
平成19年 4月 1日	事務局機構改革	スポーツ振興課を体育振興課に変更
平成19年12月18日	委員長等改選	委員長・鈴木佐内、委員長職務代理者・安藤昭雄就任
平成20年 4月 1日	「第一次きみつ教育 創・奏5か年プラン」の策定	
平成20年12月16日	委員長等改選	委員長・安藤昭雄、委員長職務代理者・宮寄順子就任
平成21年 4月 5日	生涯学習交流センターオープン	
平成21年12月 6日	小糸スポーツ広場野球場オープン	
平成21年12月15日	委員長等改選	委員長・宮寄順子、委員長職務代理者・木曾野正勝就任
平成22年 4月 1日	事務局機構改革	文化振興課設置

平成22年 5月23日 君津グラウンド・ゴルフ場オープン

平成22年10月12日 上総地域交流センターオープン

平成22年12月 6日 委員長等改選 委員長・木曾野正勝、委員長職務代理者・鈴木臣恵就任

平成22年12月 6日 教育長・本吉貞夫再任

平成23年 3月31日 蔵玉小学校閉校

平成23年12月 6日 委員長等改選 委員長・鈴木臣恵、委員長職務代理者・宮崎洋史就任

平成24年12月 6日 委員長等改選 委員長・宮崎洋史、委員長職務代理者・大野克巳就任

平成25年 4月 1日 「第二次きみつ教育 創・奏5か年プラン」の策定

平成25年12月16日 委員長等改選 委員長・大野克巳、委員長職務代理者・佐藤ますみ就任

平成26年12月 6日 教育長・本吉貞夫再任

平成27年 3月31日 教育長・本吉貞夫、委員長・大野克巳退任

平成27年 4月 1日 新教育委員会制度へ移行 教育長・山口喜弘、
教育長職務代理者・伊澤貞夫就任

事務局機構改革 調理場整備推進室設置

平成27年10月27日 「君津市学校再編基本方針」策定

平成28年 3月25日 「君津市学校再編基本計画」策定

平成28年 4月 1日 事務局機構改革 調理場整備推進室を学校給食運営室に名称変更、
学校再編推進課を設置、
生涯学習課、文化振興課を統合し、生涯学習文化課に名称
変更

平成29年 1月11日 「君津市学校再編第1次実施プログラム」決定

平成30年 3月31日 周西幼稚園閉園

平成30年 4月 1日 「第三次きみつ教育 創・奏5か年プラン」の策定

平成30年 4月 1日 教育長・山口喜弘再任

平成31年 4月 1日 周東中学校開校（小糸・清和中学校を統合）
事務局機構改革 学校給食運営室を学校給食共同調理場に統合
学校給食共同調理場設置（南子安・坂田・平山共同調理場を統合）

令和 2年 2月 7日 「君津市学校再編第2次実施プログラム」決定

令和 2年 4月 1日 清和小学校開校（秋元・三島小学校を統合）
上総小櫃中学校開校（小櫃・久留里・松丘・亀山中学校を統合）

令和 2年 6月30日 教育長・山口喜弘退任

令和 2年 7月 1日 教育長・粕谷哲也就任

令和 3年 4月 1日 教育長・粕谷哲也再任

令和 3年 4月 1日 小糸小学校開校（中・小糸小学校を統合）
上総小学校開校（久留里・松丘・坂畑小学校を統合）

2 教育長・教育委員



教育長
粕谷 哲也



教育長職務代理者
伊澤 貞夫



委員
小倉 洋一



委員
佐藤 薫



委員
増田 亜紀

令和3年7月1日現在

役 職	氏 名	現 住 所	任 期
教育長	粕谷 哲也	木更津市万石	R3. 4. 1～R6. 3. 31
教育長職務代理者	伊澤 貞夫	君津市宮下	H30. 12. 6～R4. 12. 5
委員	小倉 洋一	君津市俵田	H29. 12. 15～R3. 12. 14
委員	佐藤 薫	君津市清和市場	R 元. 12. 15～R5. 12. 14
委員	増田 亜紀	君津市大鷲	R2. 12. 13～R6. 12. 12

3 教育委員会議 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1) 会議の開催回数

区分	定例会
回数	13

(2) 会議に付した議案

件 名	議決件数
教育委員会規則及び訓令を制定し、または改廃すること。	12
予算その他議会の議決を要する事件の議案について市長に意見を申し出ること。	9
附属機関の委員を任命し、または委嘱すること。	8
その他	7

4 事務局及び教育機関の組織機構と事務分掌

(1) 事務局

令和3年4月1日現在

職 名 所属名	教育長	部長	次長	副参事	課長・主幹	副課長・副主任	係長	指導主事	主査	副主査	主任主事・主任技師	主事	社会教育主事	文化財主事	社会教育指導員	計
教育委員会	1															1
教 育 部		1														1
教育総務課			1		(1)	1	2				3 (1) 「1」	3				10 (2) 「1」
学校教育課				1	2 (1)		2		1	1	1	2				10 (6)
学校再編推進課					2				2	1	1					6
生涯学習文化課					1	2			1 「1」	1	4	1		2 (1)		12 (3) 「1」 「2」
体育振興課				1	(1)				1	1		3				6 (1)
計	1	1	1	2	5 (3)	3	4 (2)	(5)	5 「1」	4	9 (1) 「1」	9	(1)	2		46 (12) 「2」 「2」

() は兼職

[] は会計年度職員

「 」 は再任用職員

(2) 教育機関等

職名 機関名	所長・館長・主幹	副館長・副所長・副主幹	係長・主査	副主査	主任主事	主事	社教主事・公民館主事	司書	家庭教育指導員	総括用務員	主任用務員	用務員	計
教育センター	(1)	1	3 (1)	1 (1)	(1)								5 (4)
君津中央公民館	(1)				(2)	(1)	(1)				(「1」)		(5) (「1」)
八重原公民館	[1]	1			2								3 [1]
周西公民館	[1]	1		1	1		1						4 [1]
周南公民館	[1]	1			1			1					3 [1]
小糸公民館	[1]	1				1	1						3 [1]
清和公民館	[1]	1				1	1						3 [1]
小櫃公民館	[1]	1			1		1						3 [1]
上総公民館	(1)	(1)				(2)	(1)						(5)
中央図書館	1	1	3 (1)	1	2			2					10 (1)
久留里城址資料館	[1]	2	1	1		1							5 [1]
小学校										3	1	1 [8]	5 [8]
中学校										1		1 [2]	2 [2]
生涯学習交流センター	1				2	1	1		[1]		[1]		5 [1] [1]
上総地域交流センター	1 [1]	(1)				2	1						4 (1) [1]
計	3 (3) [8]	10 (2)	7 (2)	4 (1)	9 (3)	6 (3)	6 (2)	3		4	1	2	55 (16) (「1」) [19] [4]

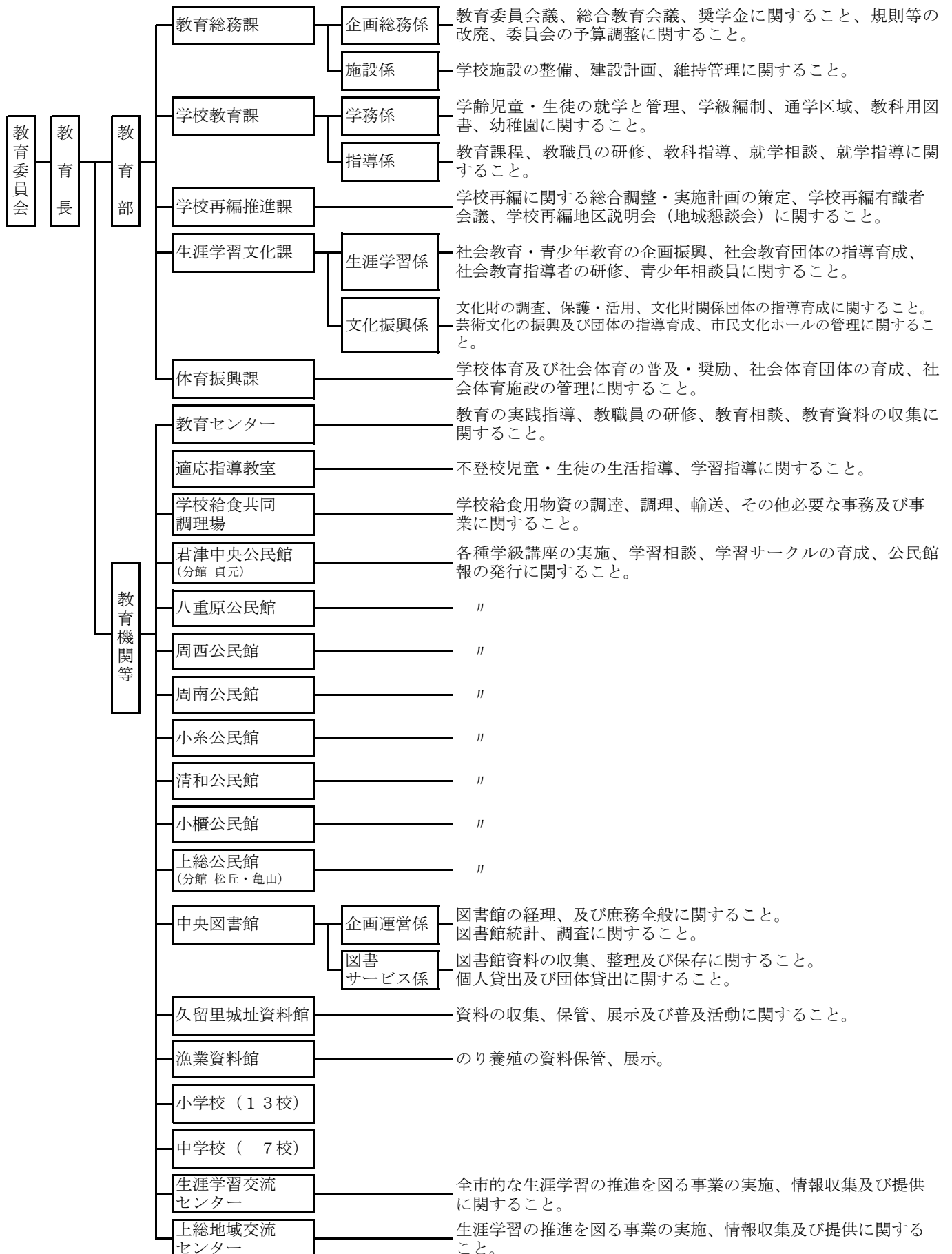
() は兼職 [] は会計年度職員 「 」 は再任用職員

(3) 学校給食共同調理場

職名 機関名	場長	主査	主任主事	主事	主任管理栄養士	栄養教諭	栄養職員	計
学校給食共同調理場	1	1	1	2	1	(2)	(1)	6 (3)

() は県職

(4) 教育委員会機構



5 教育施策

君津市教育委員会では、本市の最上位計画である「君津市総合計画」¹に掲げる『豊かな学びと文化が人を育むまち』の実現を目指し、「君津市教育大綱」²や「第三次きみつ教育創・奏5か年プラン」³で定める基本理念、基本目標を踏まえ、教育施策を推進しております。

〈君津市総合計画の推進〉

まちづくり構想で定める将来都市像『人が集い 活力あふれる 健康都市 きみつ～夢と誇りの持てるまち～』や、基本目標のひとつである、『豊かな学びと文化が人を育むまち』の実現を目指し、社会情勢の変化や市民ニーズを踏まえながら、柔軟に対応してまいります。

また、平成31年度からの「第三次まちづくり実施計画」を踏まえ、市民が夢と誇りの持てる将来を見据えたまちづくりを展開してまいります。

〈君津市教育大綱に掲げる基本目標の確実な定着と推進〉

君津市教育大綱に掲げる基本理念『まちづくりは人づくり』は、市民一人ひとりが、いきいきと健康で暮らし、君津の未来を支える子どもたちを社会全体で育むことが夢と誇りのもてるまちに繋がるという思いであり、基本目標は、

1. 一生懸命、勉強しよう。
2. 心と体をきたえよう。
3. 人を思いやる心を持とう。
4. ふるさと君津に誇りを持とう。
5. 家庭・地域・学校・行政が一体となって、子どもたちを育てます。
6. 子どもたちのために、よりよい学校をつくれます。

の6つとし、「知」、「徳」、「体」、「郷土愛」に関する子どもたちへのメッセージと、教育行政における市の取り組みを掲げ、市民の意向をより一層反映させながら、本市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図ってまいります。

¹ 市のまちづくりの長期的な指針として、今後の本市のあるべき姿とその実現のための方策を示したもの。

² 地方教育行政法改正により市長が策定した、本市の実情に応じた教育に関する総合的な施策の大綱。

³ 平成30年度からの5か年を見通した「君津市教育振興基本計画」。第二次プランと同様、「まちづくりは人づくり」を基本理念とし、君津市総合計画に位置づけられた「豊かな学びと文化が人を育むまち」を目指すもので、6つの基本目標を柱に22の施策の方向性を定め、各施策の総合的な推進を図っている。

〈第三次きみつ教育 創・奏5か年プランの推進〉

平成30年度からの5か年を見通した本市の教育振興基本計画「第三次きみつ教育 創・奏5か年プラン」は、これまでのプランと同様に『まちづくりは人づくり』を基本理念としています。家庭、地域、学校、行政の連携と協働のもと、市のまちづくりの長期的な指針である君津市総合計画に掲げた将来都市像『人が集い 活力あふれる 健康都市 きみつ～夢と誇りの持てるまち～』の実現に向け、各施策の推進を図ってまいります。

本プランは、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備をはじめ、学校教育、スポーツ振興、社会教育、文化振興等幅広い分野に対応するため、6つの基本目標を柱に施策の総合的な推進を図ってまいります。

〈令和3年度教育重点施策〉

令和3年度においては、この教育大綱及び教育振興基本計画に基づき、本市の総合計画及びまちづくり実施計画に掲げる「豊かな学びと文化が人を育むまち」の実現に向け、各施策を積極的に展開するとともに、第3次まちづくり実施計画の重点施策に新たに追加された「激甚化する災害対策及び感染症拡大防止」の視点から、教育施設の整備や、避難所としての機能強化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止などについても取り組んでまいります。

また、デジタル化の推進が加速する中、新しい時代の流れを捉えながら、本市における「GIGAスクール構想」の実現に向けて、教育ICT環境の整備・活用を進めてまいります。

6 教育費予算の内訳

一般会計予算前年比較

歳入

(単位：千円・%)

区 分	令和3年度予算額		令和2年度予算額		比較	増減率
		構成比		構成比		
(1) 市税	16,911,000	49.2	17,550,000	55.5	△ 639,000	△ 3.6
(2) 地方譲与税	495,000	1.5	501,000	1.6	△ 6,000	△ 1.2
(3) 利子割交付金	7,000	0.0	7,000	0.0	0	0.0
(4) 配当割交付金	50,000	0.1	50,000	0.2	0	0.0
(5) 株式等譲渡所得割交付金	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
(6) 法人事業税交付金	115,000	0.3	88,000	0.3	27,000	30.7
(7) 地方消費税交付金	2,083,000	6.1	1,959,000	6.2	124,000	6.3
(8) ゴルフ場利用税交付金	121,000	0.4	141,000	0.4	△ 20,000	△ 14.2
(9) 自動車取得税交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
(10) 環境性能割交付金	45,000	0.1	46,000	0.1	△ 1,000	△ 2.2
(11) 地方特例交付金	189,000	0.5	63,000	0.2	126,000	200.0
(12) 地方交付税	1,000	0.0	220,000	0.7	△ 219,000	△ 99.5
(13) 交通安全対策特別交付金	12,559	0.0	12,273	0.0	286	2.3
(14) 分担金及び負担金	451,051	1.3	471,285	1.5	△ 20,234	△ 4.3
(15) 使用料及び手数料	404,127	1.2	430,482	1.4	△ 26,355	△ 6.1
(16) 国庫支出金	5,466,349	15.9	4,294,103	13.6	1,172,246	27.3
(17) 県支出金	2,109,385	6.1	2,341,690	7.4	△ 232,305	△ 9.9
(18) 財産収入	159,088	0.5	51,477	0.2	107,611	209.0
(19) 寄附金	550,253	1.6	505,253	1.6	45,000	8.9
(20) 繰入金	1,108,323	3.2	21,010	0.1	1,087,313	激増
(21) 繰越金	300,000	0.9	300,000	0.9	0	0.0
(22) 諸収入	567,964	1.7	573,726	1.8	△ 5,762	△ 1.0
(23) 市債	3,203,900	9.3	1,953,700	6.2	1,250,200	64.0
計	34,380,000	100.0	31,610,000	100.0	2,770,000	8.8

歳出

(単位：千円・%)

区 分	令和3年度予算額		令和2年度予算額		比較	増減率
		構成比		構成比		
(1) 議会費	297,722	0.9	301,238	1.0	△ 3,516	△ 1.2
(2) 総務費	4,642,555	13.5	4,378,370	13.9	264,185	6.0
(3) 民生費	10,646,024	31.0	10,406,401	32.9	239,623	2.3
(4) 衛生費	6,488,374	18.9	4,488,197	14.2	2,000,177	44.6
(5) 労働費	43,009	0.1	43,000	0.1	9	0.0
(6) 農林水産業費	782,781	2.3	804,769	2.5	△ 21,988	△ 2.7
(7) 商工費	760,174	2.2	668,943	2.1	91,231	13.6
(8) 土木費	3,448,099	10.0	3,019,092	9.6	429,007	14.2
(9) 消防費	1,515,091	4.4	2,082,894	6.6	△ 567,803	△ 27.3
(10) 教育費	4,024,438	11.7	3,679,438	11.6	345,000	9.4
(11) 災害復旧費	18,885	0.1	7,006	0.0	11,879	169.6
(12) 公債費	1,612,848	4.6	1,630,652	5.2	△ 17,804	△ 1.1
(13) 予備費	100,000	0.3	100,000	0.3	0	0.0
計	34,380,000	100.0	31,610,000	100.0	2,770,000	8.8

一般会計予算教育費前年比較

歳出

(単位：千円・%)

項目	令和3年度予算額		令和2年度予算額		比較	増減率
		構成比		構成比		
教育委員会費	28,290	0.7	28,746	0.8	△ 456	△ 1.6
事務局費	621,695	15.5	713,309	19.4	△ 91,614	△ 12.8
小学校管理費	471,688	11.7	446,379	12.1	25,309	5.7
教育振興費	216,388	5.4	142,491	3.9	73,897	51.9
中学校管理費	454,417	11.3	239,474	6.5	214,943	89.8
教育振興費	154,757	3.8	131,311	3.6	23,446	17.9
社会教育総務費	302,036	7.5	296,693	8.1	5,343	1.8
公民館費	256,979	6.4	241,323	6.5	15,656	6.5
図書館費	129,015	3.2	136,151	3.7	△ 7,136	△ 5.2
文化財保護費	35,704	0.9	22,866	0.6	12,838	56.1
青少年対策費	4,488	0.1	1,446	0.0	3,042	210.4
博物館費	17,240	0.4	17,006	0.5	234	1.4
文化振興費	232,547	5.8	182,492	5.0	50,055	27.4
地域交流センター費	37,860	0.9	37,434	1.0	426	1.1
保健体育総務費	159,892	4.0	156,756	4.3	3,136	2.0
学校給食費	753,799	18.7	733,576	19.9	20,223	2.8
教育センター費	147,643	3.7	151,985	4.1	△ 4,342	△ 2.9
合計	4,024,438	100.0	3,679,438	100.0	345,000	9.4

7 重点事業及び主要施策別予算

◎新規事業

(単位：千円)

事業名	3年度予算額	前年度予算額	説明
◎ 旧教育施設管理事業	15,449	0	学校再編実施プログラムに基づく統合により、使用しなくなる学校施設の維持管理を行う。
・ 奨学金貸付事業	9,360	9,360	経済的理由により修学が困難な大学生等に月額50,000円以内で貸付を行う。
・ 学校再編推進事業 ・ 統合準備室運営事業	572	369	統合に向けて準備室を設置し、円滑な統合に向けた取組みを推進する。
・ 事前交流事業	2,105	2,117	統合校同士の児童が良好な関係を築けるよう事前交流を行い、教育活動の充実を図る。
・ 統合関係費	12,960	13,384	統合にあたり、校名変更等に伴う備品等を更新し、新たな学校づくりに取り組む。
・ 学校図書館司書補助員配置事業	7,468	8,330	学校図書館司書補助員を配置し、学校図書館の機能を充実させ、児童生徒の読書教育の推進を図る。
・ 小中一貫教育推進事業	73	189	小学校から中学校までの義務教育9年間を一貫したカリキュラムで行う小中一貫教育を推進する。
・ 校舎等維持補修事業 (小・中学校費)	65,736	70,322	校舎等の維持補修、校内樹木の伐採などを行い、児童生徒の安全と快適な学習環境の充実を図る。
・ 施設整備事業(小・中学校費) ・ (仮称)上総地区小学校 統合施設整備事業	64,252	88,782	学校再編に伴い、久留里小学校を上総小学校の使用校舎とするための施設整備を行う。 ※国費 9,226千円
・ 小学校空調設備設置事業	16,648	6,250	学校再編に伴い、統合する大和田小学校の普通教室に熱中症対策として、レンタルエアコンを設置する。

◎新規事業

(単位：千円)

事業名	3年度予算額	前年度予算額	説明
・大和田・坂田小学校統合 施設整備事業	65,286	10,076	学校再編に伴い、坂田小学校を大 和田・坂田統合小学校の使用校舎と するための施設整備を行う。
◎小・中学校屋内運動場L E D照明改修事業	23,166	0	周西小学校及び周東中学校の屋内 運動場の照明をL E Dに改修し、教 育環境の改善を図る。 ※国費 7,721千円
◎上総小学校敷地整備事業	3,487	0	校舎周辺の崖の崩落対策に係る地 質調査を行う。
・周西南中学校屋内運動場 整備事業	237,535	3,697	老朽化した屋内運動場を改修し、 生徒の教育環境の改善を図る。 ※国費 17,174千円
・管理備品購入事業 (小・中学校費)	3,750	3,750	学校の管理運営に必要な備品を計 画的に更新し教育環境の充実を図る。
・スクールバス運行事業 (小・中学校費)	253,004	153,859	学校再編に伴い、児童生徒の登下 校における安全確保のためにスクー ルバスを運行する。 ※国費 77,052千円
・就学援助事業 (小・中学校費)	50,683	50,683	経済的な理由により就学が困難な 児童生徒に対し、学用品費等を援助 する。 ※国費 402千円
・学力向上推進事業 (小・中学校費)	8,936	3,543	児童生徒の学力状況を把握し、課 題や指導方法の工夫・改善を図る。
・I C T活用推進事業 (小・中学校費、教育センター費)	153,945	153,115	児童生徒のI C T活用能力を育成 するために、教育ネットワークシス テムの充実と、I C T活用教育の推 進を図る。
・子ども支援・介護事業 (小・中学校費)	14,688	13,488	介護が必要な児童生徒を支援する ため、小学校に23名、中学校に4 名の生活体験指導員を配置する。
・指導補助教員配置事業 (小・中学校費)	41,696	39,228	児童生徒一人ひとりの個に応じた きめ細かな指導を行い、学力の向上 を図るため、小学校に5名、中学校 に8名の指導補助教員を配置する。

◎新規事業

(単位：千円)

事業名	3年度予算額	前年度予算額	説明
・ ICT学習環境整備事業 (小・中学校費)	97,238	0	G I G Aスクール構想に基づき、児童生徒が一人一台端末を使用する機器や大型提示装置等を整備する。
・ 運動部活動地域連携実践事業	936	1,076	生徒数の減少・指導者の高齢化等の諸課題の解消を図るため、合同部活動を実施する際の交通手段を確保する。
・ 子どもの読書活動推進事業	435	436	第三次君津市子ども読書活動推進計画4年目として、市内全ての子どもが読書に親しむ活動を展開する。
・ 生涯学習バス管理運営事業	13,429	13,730	生涯学習バス2台の運行により、学習活動の推進を図る。
・ コミュニティ・スクール推進事業	654	556	学校再編第2次実施プログラムに基づき、小櫃・上総地区へのコミュニティ・スクール導入準備を進める。
・ 公民館管理運営事業	48,753	47,494	市内6公民館施設の適正な維持管理を行う。
・ 公民館維持補修事業	24,597	15,557	八重原公民館レクホール空調ほか、市内6公民館の修繕等を行い、市民の安全な利用を図る。
・ 中央図書館資料購入事業	22,391	22,300	学習や情報収集に役立つ資料を幅広く収集し、市民に提供する。
・ 中央図書館読書推進事業	363	384	図書館の利用促進を図る講座等の開催やハンディのある利用者への資料提供とサービスを行う。
・ 中央図書館施設管理事業	30,311	27,198	安全で快適な読書環境を提供するため、施設の維持管理を行う。
・ 図書館「知の拠点化」推進事業	1,250	1,257	中央図書館を市民の知の拠点とするため、自主的な課題解決を支援するための機能充実を図る。
・ 文化財活用事業	985	991	文化財を活用した子ども体験教室、展示会、講演会の開催及び松本ピアノの補修、文化財移動を実施する。

◎新規事業

(単位：千円)

事業名	3年度予算額	前年度予算額	説明
・ 放課後子ども教室事業	200	167	地域住民を中心として展開される八重原小学校における放課後子ども教室の回数拡大を図る。 ※県費 134千円
・ きみつ水と緑のコンサート事業	4,505	4,505	本市出身の音楽家・地域で活動する団体・市民と連携し、君津文化を発信するコンサートを開催する。
・ 君津市民文化ホール改修事業	76,134	21,010	施設設備の機能維持を図るため、屋上防水シートの改修、外壁修繕及びワイヤレスマイク装置の更新を行う。
・ きみつ少年少女合唱団育成事業	1,940	3,240	本市の子ども文化の代表として活躍する合唱団の育成と活動を支援する。
・ 生涯学習交流センター ・ 管理運営事業	21,822	20,015	生涯学習活動の拠点施設として施設の維持管理、設備の充実を図る。
・ 市民相互交流促進・生涯学習促進事業	552	545	多世代交流、年代別学習などの主催事業を通じ、生涯学習を推進する。
・ 上総地域交流センター ・ 管理運営事業	14,674	16,070	上総地域の学習活動の拠点施設として維持管理を行う。
・ 学校保健事業	25,233	24,029	児童生徒及び教職員の健康増進と学校環境衛生の確保を図ると共に、学校での新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努める。 コチニン検査を実施し、受動喫煙防止に努める。
・ スポーツ広場等管理経費	26,201	26,243	スポーツ広場等の維持管理を行い、快適な環境を保つことによって、利用者の体位向上や健康増進を図る。
◎ 小櫃スポーツ広場整備事業	2,640	0	経年劣化が著しい小櫃スポーツ広場野球場のバックネットを改修し、利用者の安全を確保する。

◎新規事業

(単位：千円)

事業名	3年度予算額	前年度予算額	説明
・生涯スポーツ推進事業	436	412	日常の活動や練習の成果を披露できるイベントを開催し、健康で生きがいのある市民生活の向上を図る。
・オリンピック・パラリンピック教育推進事業	3,755	3,075	オリンピック・パラリンピック学校連携観戦及び聖火リレー参観に参加する児童生徒の移動にかかる輸送費の負担及び競技体験会を実施する。
・プール集約化事業	9,079	8,053	児童の泳力の向上と教員の指導力向上、安全面・衛生面の確保、施設の維持・管理の視点から、より質の高い水泳指導を行うため、学校プール施設の集約を行う。
・その他管理費 (学校給食共同調理場)	16,294	8,443	給食費の徴収管理業務を行うためのシステム機器をリースする。
・調理等業務委託費	283,884	279,233	調理場における調理・洗浄・保管業務、配送業務及び各小中学校における配膳業務を委託する。
・適応指導教室管理運営事業	5,123	4,938	不登校児童生徒の学校復帰を支援する。
・外国語指導助手活用事業	44,729	49,619	英語教育推進のため、外国語指導助手(ALT)を派遣し、小・中学校での英語教育の充実を図る。
・国際化推進コーディネーター活用事業	991	1,778	日本語指導のため小・中学校に2名のコーディネーターを派遣する。
・いじめ防止・虐待貧困対策事業	1,506	1,598	SNSを活用した教育相談の実施及びスクールソーシャルワーカー1名を配置する。

Ⅲ 学校再編

1 君津市学校再編の推進について

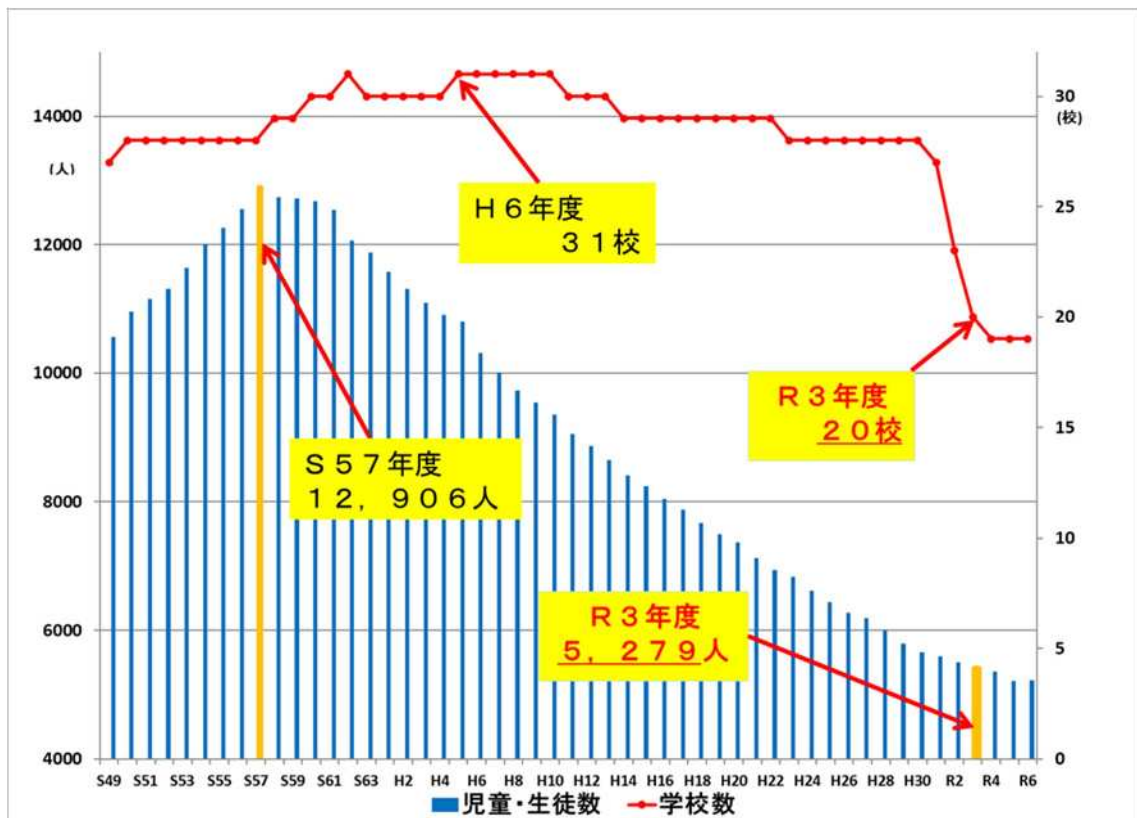
(1) 君津市の児童生徒数の現状

本市の児童生徒数は、昭和57年をピークに減少傾向にあり、現在はピーク時の半数以下となっている。国の調査機関の人口予測では、今後も減少の傾向は変わらず、学校の小規模化は確実に進行しており、深刻な状況となっている。

また、学校や子どもたちを取り巻く教育環境が複雑化・多様化している昨今、いじめや不登校、子どもの貧困問題など、教育課題も山積している状況である。

その変化の激しい社会の中で、子どもたち一人一人が困難な状況を乗り越え、主体的に自らの人生を切り拓きながら、力強く生きていくことができるような教育環境を目指す必要がある。そのためには、適正な学校規模を確保することや時代にあった学校づくりなどの学校再編を進めていくべきであると考えます。

【本市の児童生徒数の推移と学校数の変遷】



(2) 学校再編の基本コンセプト

「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指し、学校の活性化を推進する。

- 1 活力ある魅力的な学校づくり
- 2 学校の適正規模・適正配置
- 3 時代にあった新しいタイプの学校



(3) 適正規模・適正配置のあり方について

学校の適正規模については、子どもたちが一定の集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、推進する。学校規模に関する国の基準はあるが、本市においては、クラス替えのできる1学年2学級以上が適正であるとした。

【君津市の適正規模の基準】

小学校：12学級から18学級（1学年 2～3学級）

中学校：6学級から18学級（1学年 2～6学級）

学校の適正配置については、子どもたちのよりよい教育環境を目指して、地域の様々な事情を総合的に考慮しながら、学校の統合、通学区域の見直し、時代にあった新しいタイプの学校への転換などを推進する。

(4) 時代にあった新しいタイプの学校のあり方について

教育環境が複雑化・多様化し、様々な教育課題が山積している中、小中一貫教育をはじめとする特色ある学校づくり等、時代に合った新しいタイプの学校づくりが求められている。さらには、家庭・地域・学校・行政が連携・協働し、地域総がかりでの教育の実現のために、地域が積極的に学校運営に関わるコミュニティ・スクールの導入や、幼稚園・保育園、高等学校や特別支援学校とより一層連携して、地域と目標を共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指す。

2 これまでの取り組みについて

(1) 学校再編基本方針（平成27年10月策定）

学識経験者、学校関係者、保護者、地域関係者で構成される学校再編有識者会議を開催し、その中で様々な見地からご意見をいただき、学校再編の基本となる方針として示したものである。

(2) 学校再編基本計画（平成28年3月策定）

学校再編基本方針に基づき、学校再編の具体的なメニューなどを盛り込み、今後10年間の学校再編に関する基本的な考え方について示したものである。この基本計画を策定するにあたり、各地区での説明会、市民からの意見公募や保護者アンケート等を行い、いただいた意見を精査し策定した。



(3) 学校再編第1次実施プログラム（平成29年1月決定）

「学校再編基本計画」に基づき、学校再編の具体的な方法を明示した『学校再編第1次実施プログラム』を決定した。本プログラムは、学校の小規模化が進行しており、複式学級や単学級を多く有する中山間地域の統合を中心に、幼児教育と保育の融合や、特色ある学校づくりの取り組みを進めていくものとなっている。

(4) 学校再編第2次実施プログラム（令和2年2月決定）

「学校再編基本計画」に基づき、学校再編の具体的な方法を明示した『学校再編第2次実施プログラム』を決定した。本プログラムは、君津地区においても学校の小規模化が進行しており、隣接する学校の統合を中心に、特色ある学校づくりの取り組みを進めていくものとなっている。

(5) 統合準備室（大和田小・坂田小：令和2年7月）

対等の立場で統合し新たな学校づくりを推進するため、検討すべき課題において地域や保護者の意見を踏まえながら、実務的に進める組織を設置した。教育課程の編成、備品や文書の移管作業、PTA活動、通学路の安全など様々な内容を部会に分かれて実務的に進めている。

(6) 特色ある学校づくり

平成30年度から、周南中学校区を小中一貫教育校として設置し、周西南中学校区にコミュニティ・スクールを導入した。

令和3年度から、周西中学校区をキャリア教育拠点校として指定、令和4年度から上総小櫃中学校区にコミュニティ・スクールを導入する予定。令和6年度から周西中学校区を小中一貫教育校として設置する見通しである。

3 今後の方針について

(1) 第1次及び第2次実施プログラムの推進について

第1次実施プログラムにおいては、令和3年度の小糸小、上総小の開校で、小糸・清和地区、小櫃・上総地区の13の小中学校の統合が完了した。また、第2次実施プログラムにおいては、大和田小・坂田小の統合を軸とした周西中学校区の教育環境整備や、統合に伴い地域が広がった小櫃・上総地区にコミュニティ・スクールを導入する予定である。

統合による児童生徒の精神面へのケアや学習面でのサポート、統合準備による教職員の多忙化を考慮しながら推進していく。また、文書・備品等の移管作業や学校施設の整備を計画的に進めるとともに、通学時の安全面への対策などについて学校や地域関係者の意見を聴取しながら進めていく。

(2) 第3次以降の実施プログラムについて

今後も、基本計画に基づき、「子どもたちにとってよりよい教育環境」となるよう、活力ある魅力的な学校づくりに継続して取り組む。

君津地区を対象とした第3次実施プログラムについては、まちづくりの方向性をふまえた児童生徒数の推計や地区の現状や課題、市民からの意見を総合的に検討していく。これまでの説明会やアンケートで聴取した意見、また、八重原地区を対象

とした学校関係者による協議会での意見を参考に、第3次実施プログラムの作成を着実に進めていく。

また、特色ある学校づくりは、小中一貫教育校やコミュニティ・スクールの拡大、キャリア教育の充実等を視野に入れた学校づくりを推進していく。

なお、基本計画は、その内容に影響を及ぼす社会情勢の変化や教育制度の変化等があった場合、適宜見直しを行うものとする。また、再編対象校についての評価・検証を適宜行い、それを常にフィードバックすることで、子どもたちにとって、よりよい教育環境となるよう整備を推進していく。

IV 学校教育

1 学校教育指導指針

令和3年度 学校教育指導の指針

いきいき君津っ子

君津市教育大綱

- 1 一生懸命、勉強しよう。
- 2 心と体をきたえよう。
- 3 人を思いやる心を持とう。
- 4 ふるさと君津に誇りを持とう。
- 5 家庭・地域・学校・行政が一体となって、子どもたちを育てます。
- 6 子どもたちのために、よりよい学校をつくれます。

基本目標の1から4は、「知」、「徳」、「体」、「郷土愛」に関する市長の子どもたちへのメッセージで、5と6は市の取り組みを示しています。

人生を主体的に切り拓く『生きる力』の育成

I 確かな学力の育成と個性の伸長

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成
- (2) グローバル化に対応した教育の推進
- (3) 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

II 豊かな人間性や社会性の育成

- (1) 豊かな心を育てる道徳教育の充実
- (2) 実践的態度を育成する特別活動の充実
- (3) 自己指導能力を育てる生徒指導の充実

III 健やかでたくましい体づくり

- (1) 学校体育の充実
- (2) 健康・安全教育の充実
- (3) 食育の推進

IV 家庭や地域の信頼に応える学校づくり

- (1) 地域に開かれた活力ある学校づくり
- (2) 安全で安心して学べる環境づくり
- (3) 教職員の資質・能力の向上

【主体的・対話的で深い学び】

周りの人と新たな学び・発見を



【社会に開かれた教育課程】

授業から生活へ・生活から授業へ

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

I 確かな学力の育成と個性の伸長

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 児童生徒一人一人にとって学んだことの意義を実感できる「わかる授業、魅力ある授業」づくりに努め、 学びに向かう力、人間性等を涵養 する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導目標を明確にした指導計画の作成 ・ねらいを明確にした授業実践 ・学習課題をつかませる導入の工夫 ・学習内容の振り返りの時間を設ける ・市作成「授業力アップシート」の活用
② 個に応じたきめ細かな指導と各教科等における言語活動を一層充実させ、 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得 とこれらを活用して課題を解決するために必要な 思考力、判断力、表現力等 を育成する。 【指導補助教員配置事業】 【学力向上推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の学習状況の的確な把握 ・指導補助教員の配置と活用方法の工夫 ・他者との対話や自己の考えの記述 ・タブレットやICTを取り入れた協同的な学習場面の工夫
③ 学習活動の質を高めながら、習得・活用・探求という学習サイクルの確立を図り、「 主体的・対話的で深い学び 」の実現を目指す。 【学力向上推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的なカリキュラムの編成 ・課題解決学習の推進 ・本を活用した調べ学習 ・身近な教材として新聞記事の積極的な活用 ・ICTとアナログの効果的な活用
④ 総合的な学習の時間での、 探究のプロセスを意識した学習と協働的な取組 により、よりよく問題を解決する力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標及び内容、育てようとする資質・能力の明確化による全体計画の見直しと年間指導計画との関連を図る ・地域の教育力の積極的な活用
⑤ 教師自らの指導を振り返り、指導の改善に生かすなど、 指導と評価の一体化 に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を一層重視した学習評価 ・児童生徒一人一人の良い点などを把握し、成長した視点を大切に評価 ・年間指導計画の見直し（評価基準、評価規準）
⑥ 校内学力向上推進委員会の機能を生かし、 PDC Aサイクル により 指導方法の工夫改善 を図る。 【学力向上推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学習状況の把握・分析（全国学力学習状況調査、ミライシードの活用、検証改善サイクルの活用） ・校内研修等の活用 ・市作成「授業力アップシート」の活用
⑦ 教員の指導力向上と 家庭学習の更なる充実 を図り、確かな学力の育成に努める。 【学力向上推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進委員会の提言や実践集の活用（「きみつ学びのすすめ」の活用） ・職員間の共通理解と家庭との連携 ・発達の段階に応じた学習計画の作成
⑧ 9年間の連続性を意識した児童生徒の確かな学力の育成 や学習習慣の確立を図る。 【小中一貫教育推進事業】 周南小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を視野に入れた教育課程の編成 ・学びと育ちの共有 ・小学校と中学校の積極的な連携・交流
⑨ 読書への関心を高めるとともに、読書に親しむ習慣を付け、児童生徒の読解力や創造力、思考力、表現力等の育成に努める。 【子どもの読書活動推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進や言語環境の整備 ・学習情報センターとしての学校図書館の積極的な活用と学校図書館司書補助員との連携 ・君津中央図書館の活用
⑩ 児童生徒の 情報活用能力の育成 に努めるとともに、校務の情報化や 教科指導におけるICT のさらなる活用を図る。 【ICT活用推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ等の情報機器の活用による効果的な指導の工夫 ・情報モラルに関する授業の実践 ・校務支援システムの活用

(2)グローバル化に対応した教育の推進

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 日本人としての自覚とアイデンティティの確立を図るとともに、他者を尊重し協働するためのコミュニケーション能力を養い、グローバル化に対応できる広い国際的視野を持った人間の育成に努める。	・各教科、領域にて実践
② 児童生徒の感性や情緒を育むとともに、日本の歴史や伝統文化等への理解を深め、継承・発展させる態度を育てる。 【伝統音楽教育推進事業】	・和楽器（箏の体験学習） ・地域の伝統音楽（音楽科）の教材化 ・地域の博物館や資料館の活用 等
③ 生徒の異文化理解を深め、発信力を重視した英語によるコミュニケーションのための資質・能力の育成とともに、教職員の指導力の向上を図る。 【外国語教育推進授業】	・君津市版英語検定、英語コンテスト、イングリッシュ・デイ・キャンプの実施 ・ALTとの連携
④ 児童の異文化に対する興味・関心を高めるとともに発信力を重視した英語でのコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【外国語教育推進授業】	・イングリッシュ・デイ・キャンプの実施 ・ALTとの連携
⑤ 共に生きる心を育むとともに、実践への意欲と態度を育てる。 【道徳・人権教育推進事業】 【特別支援教育推進事業】	・幼児、高校生、高齢者、障害のある人との交流活動 ・積極的な福祉体験活動の機会

(3)教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 特別支援教育コーディネーターを中心として学校全体の支援体制の充実に努める。 【特別支援教育推進事業】	・特別支援教育コーディネーターの役割の明確化 ・校内委員会の機能を生かし、家庭や医療機関、福祉施設等の関係機関と連携した総合的な支援体制の整備
② 一人一人が能力や特性を発揮し、主体的に活動できる取組の充実に努める。 【特別支援教育推進事業】	・君津市版支援ファイルの作成と活用（個別の指導計画・個別の教育支援計画） ・合理的配慮の提供
③ 支援が必要な児童生徒に「学び合う喜び、関わり合う喜び、できた喜び」を味わわせ、学習活動への意欲化を図る。 【特別支援教育推進事業】	・生活体験指導員の配置と活用方法の工夫
④ インクルーシブ教育システムの推進に向け、交流及び共同学習などの機会を積極的に設け、児童生徒及び教職員の相互理解を深める。 【特別支援教育推進事業】	・「通常学級と特別支援学級」「小・中学校と特別支援学校」での交流及び共同学習の機会の設定
⑤ 特別な支援を必要とする児童生徒の早期発見・早期対応に努め、個に応じた支援の充実に努める。 【特別支援教育推進事業】	・特別支援学校との連携 ・巡回訪問（特別支援チーム） ・「君津ほほえみ相談室」「さわらび相談」 ・「君津見え方相談」 ・聾学校と連携した「きこえの相談会」 ・適切な就学の相談支援の充実

II 豊かな人間性や社会性の育成

(1)豊かな心を育てる道徳教育の充実

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 校長の方針のもと、道徳科を要とし、学校教育全体を通じて、 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 を養う。 【道徳・人権教育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進教師の役割の明確化 ・「道徳科」を要とした道徳教育の充実
② 本市における道徳教育の重点「規範意識の醸成」と「自他の生命の尊重」「情報モラルに関するもの」を発達段階に応じて、「 感じ・考え・行動する 」心の教育の充実 ^① に努める。 【道徳・人権教育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「規範意識の醸成」「自他の生命の尊重」「情報モラルに関するもの」を道徳の全体計画や年間計画へ位置付ける。 ・体験学習やボランティア活動等による社会性の育成 ・県作成の道徳教育映像教材の活用
③ 人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念等、 児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成 に努める。 【道徳・人権教育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動や体験活動など豊かな体験 ・家庭や地域との連携 ・地域の教育力の活用 ・オリンピック・パラリンピックの機会を活用した多様な文化理解や障害者への理解
④ 教師と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を深めるとともに、悩みや心の揺れ、葛藤等の課題を積極的に取り上げ、人間としての生き方について考えられるよう指導する。 【道徳・人権教育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する」問題解決的な学習を意識した指導方法の工夫・改善 ・教育相談活動（日常的、定期的）

(2)実践的態度を育成する特別活動の充実

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 自治的能力や主権者として積極的に社会参画する力を重視し、話し合いによる合意形成や、主体的に組織をつくり役割分担して協力し合う態度を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の自主的、自治的な活動の展開 ・異学年交流のより一層の推進 ・学校種間の連携 ・ボランティア活動の実施
② 家庭や地域との連携 のもと、心豊かな人間性を育成する。 【コミュニティ・スクール推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「さらなる生きる力」の基礎となる感動体験を実感できる学校行事の充実
③ 社会生活上のルールや基本的なモラルの習得を図るとともに、郷土のよさを実感させ、郷土を愛する心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習（社会体験、職場体験等の活用）
④ 自らの生き方について考え、夢や希望を持って自己実現を図ろうとする能力や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じたキャリア教育の系統的な計画の見直しと実践 ・キャリアパスポートの活用 ・地域の教育力(高校などの異校種含む)を生かした教育の実践
⑤ 新しい仲間づくりや体験活動に進んで取り組む態度を養うことで、集団の一員としての自覚や責任を持ち、互いに協力しようとする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体を通じて、意図的な集団づくりや自治的な活動を取り入れる。

(3)自己指導能力を育てる生徒指導の充実

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
<p>① 「君津市いじめ防止基本方針」及び学校における「いじめ防止基本方針」に基づき、児童生徒の問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応を組織的・計画的に行う。</p> <p style="text-align: right;">【いじめ防止・虐待貧困対策事業】 【中学校合同生徒会事業】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめ防止基本方針の見直しとホームページへの掲載 ・生徒指導研究協議会作成のアンケートによる定期的な児童生徒のいじめ調査の実施 ・児童生徒の心身の発達段階や特性に即した確かな児童理解と教育相談活動の充実 ・学校と家庭をつなぐ人材や組織の連携と活用(スクールソーシャルワーカー、子ども家庭相談室) ・電話やSNSを活用した相談事業の活用(市SNS相談 “STOP IT”) ・中学校合同生徒会を中心に自治的活動から「いじめをしない、させない」意識の高揚 ・発達段階に応じた情報モラル教育の確実な実施
<p>② 虐待などの不適切な養育から子どもを守る取組の充実と強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーと連携したきめ細かい相談支援体制の構築 ・スクールロイヤーを活用した弁護士相談や研修の充実
<p>③ 人権意識の向上、規範意識の醸成を図るとともに自尊心を高め、生命を大切にする心を育む学級経営・学年経営の充実に努める。</p> <p style="text-align: right;">【生徒指導・長欠対策協議会事業】 【道徳・人権教育推進事業】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市作成「家庭教育リーフレット」および活用事例集の活用 ・「児童生徒意識調査提言活用事例集」の活用等 ・道徳・人権教育の充実
<p>④ 長期欠席の予防・解消に向けての指導・支援体制を確立するとともに、学校独自の達成目標をかかげて「不登校ゼロをめざすチャレンジ作戦」に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">【生徒指導・長欠対策協議会事業】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内長欠対策会議の定例化と情報共有 ・不登校ゼロをめざすチャレンジ作戦の取組
<p>⑤ 「小1プロブレム」「中1ギャップ」のさらなる解消に努める。</p> <p style="text-align: right;">【生徒指導・長欠対策協議会事業】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間や児童生徒間及び保護者との交流連携強化 ・校種間(幼保・小・中)や家庭との積極的な連携
<p>⑥ 問題行動に対応できる組織的な生徒指導体制の確立と、関係機関・団体との行動連携を図る。</p> <p style="text-align: right;">【生徒指導・長欠対策協議会事業】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一貫性のある指導に努め、組織的な対応ができる生徒指導体制の確立 ・P T A連絡協議会、青少年健全育成団体、児童相談所等との行動連携

III 健やかでたくましい体づくり

(1) 学校体育の充実

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 学校教育活動全体を通じて体育・健康に関する指導を効果的に推進し、 生涯にわたって心身の健康を保持増進 し、 豊かなスポーツライフ を実現するための資質や能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「体育・健康に関する指導の全体計画」の活用と見直し ・自己の適性等に応じた運動との多様な関わり方を見いだすことのできる場の工夫
② 児童生徒の体力向上への意識を高めるとともに校内の協力体制を高め、体力向上推進組織の充実と活性化を図る。【体力向上プロジェクト事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の体力向上プロジェクトへの取組についての情報交換と共有化
③ ライオンズ運動能力章や千葉県運動能力証の合格に向け、 日常から運動に親しむ姿勢 と積極的に挑戦する意欲や態度を育てる。【体力向上プロジェクト事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市運動マスターの活用 ・千葉県遊・友スポーツランキングの活用 ・市体育担当者研修会の開催(4・8月)
④ 児童生徒の基礎的な体力の向上をめざすとともに、小・中学校の連携種目として持久走を位置づけ、継続した取組に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市運動マスターの活用 ・爽走プラン(指導資料)の活用 ・持久走ランキング(小・中連携種目)
⑤ 生徒のスポーツに関する多様なニーズに応えるため、 体育・スポーツ活動 の活性化を図る。 【学校体育活動指導補助者活用事業】 【運動部活動地域連携事業】 【オリンピック・パラリンピック教育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・複数校合同による運動部活動の実施 ・学校体育活動指導補助者活用事業 ・スポーツ教室の実施(野球・サッカー) ・指導補助者養成講座の実施 ・部活動ガイドラインの運用 ・アスリートによる競技体験会及び交流会

(2) 健康・安全教育の充実

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 望ましい生活習慣を形成し、自らの健康を適切に管理できる能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「早起き、早寝、家族そろって朝ごはん」のさらなる奨励 ・心身の発達段階に応じた健康教育の推進 ・学校保健委員会の開催及び家庭や地域・関係機関等との連携 ・ラジオ体操等地域の体育的活動への参加による生活習慣づくりや健康の保持増進。
② 熱中症予防 に関する正しい知識と実践的態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対応ガイドラインをもとにした全職員による予防と対応 ・学校行事の実施時期の見直しと調整
③ 新型コロナウイルス・ノロウイルス等による感染症についての指導の充実を図り、予防に関する正しい知識と実践的態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画の実施 ・新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインや感染性胃腸炎拡大防止フローをもとにした組織的な対応
④ 学校安全計画のもと、「危険等発生時対処要領(危機管理マニュアル)」に基づき、日常から児童生徒の命を守るため、 発達段階に応じた危険予測や危機回避能力 を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の命は自分で守る」防災意識の定着 ・定期的な避難訓練の実施(ワンポイント避難訓練含む) ・交通安全教室(自転車の乗り方含む)の実施 ・不審者侵入等を想定した訓練の実施 ・災害時の行動計画(マイタイムライン)など意識の高揚

(3)食育の推進

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 家庭や地域と連携し、 望ましい食習慣 の形成や食を通じた自らの 健康管理能力 の育成を図る。 【食育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・食の大切さや食文化、栄養バランス等を学ぶ「食に関する指導の全体計画」の実施（給食の残渣など持続可能な社会を意識した指導） ・養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員、外部の食の専門家との連携
② 個に応じた指導をとおして、児童生徒の 栄養改善及び健康増進 を図る。 【食育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食欠食やアレルギー・肥満傾向等の実態の把握 ・家庭や地域人材・関係機関との連携 ・生活スタイルや発達段階等についての意識の啓発
③ 生涯健康で明るい生活を営むため、家族と食事をする ことの楽しさやバランスの良い食事 をとることの大切さを指導するとともに、家庭や地域と連携し、 孤食の解消や朝食摂取率の向上 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「早起き、早寝、家族そろって朝ごはん」の奨励 ・家庭科指導の充実
④ 食中毒の防止と給食の安全確保に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に関する衛生指導 ・衛生管理の徹底

IV 家庭や地域の信頼に応える学校づくり

(1)地域に開かれた活力ある学校づくり

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 教育の理念を学校と社会が共有し、新しい時代に求められる資質・能力を明確にした教育課程を編成する。【コミュニティ・スクール推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域、保護者が学校教育目標を共有 ・学校や家庭・地域の特色を生かした教育活動の実践 ・地域の施設や社会人など地域の教育力の積極的な活用
② 組織マネジメント を生かし、教職員一人一人が学校の教育方針や目標を十分に理解し、 それぞれの専門性 を最大限に発揮するとともに、 学校運営 に積極的に参画するよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・機能的な校務分掌の作成 ・効率的で機動力のある学校運営 ・人事評価(能力評価・業績評価)制度の活用 ・ベテラン層の活用と若年者層の育成
③ 「 開かれた学校づくり 」を積極的に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に関する情報等を保護者や地域に発信（学校だより、ホームページ等） ・保護者や地域への積極的な授業公開 ・「君津さわやかスクールボランティア」の活用
④ 「 家庭・地域・学校の協働 」による教育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の地域活動への積極的な参加 ・家庭・地域の方々との積極的なコミュニケーション
⑤ 学校運営の改善を組織的・継続的に行うことで保護者・地域に対して、説明責任を果たす。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価・学校関係者評価の実施公表 ・学校評議員や青少年健全育成協議会等との積極的な横の連携 ・教育活動に関する情報公開

(2)安全で安心して学べる環境づくり

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 君津市「学校安全の指針」や学校安全計画を基に児童生徒の命を守るため、 教職員の危機管理意識 の高揚に努める。 【防災教育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「危険等発生時対処要領(危機管理マニュアル)」等の見直しと整備 ・シミュレーション訓練の実施 ・関係機関との連携
② 災害発生時において、児童生徒の 安全確保 を図る。 【防災教育推進事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難所運営マニュアル」の見直しと整備 ・危機管理課との避難所開設及び運営に関する連絡会議の開催
③ 小・中学校の施設・設備・環境等の 安全管理 に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備・環境等の定期的な点検の実施（複数の目による点検） ・点検項目の見直しと修正
④ 児童生徒の安全を守るための具体的な取組を学校や地域の防犯活動として推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校や家庭・地域・関係機関及び警察署との連携を図った地域安全ネットワークづくり ・学区の安全マップの作成
⑤ 全教職員が事故防止に対する 安全注意義務 を十分に認識するとともに、AED使用等の応急処置の技能向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・AED、エピペン等の応急処置の技能向上 ・救命救急講習の実施

(3)教職員の資質・能力の向上

指 針 内 容	具体的な手だて・工夫等
① 教育公務員としての服務規律の厳正と職務の公正な執行 に努め、保護者や地域住民の信頼に応えるよう学校全体をあげて組織的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルアップ委員会の活用 ・不祥事根絶に関する校内研修会の定期的・日常的実施（ボトムアップ型等） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>公金管理、わいせつ・セクハラ、体罰、情報漏洩、飲酒運転、成績書類管理</p> </div>
② 使命感や倫理観、専門性を高め、児童生徒理解 に努めるとともに、保護者や地域の人々との よりよい人間関係 の構築に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅・ベテラン教員からの技術の継承をねらった校内研修の充実 ・生徒指導会議の充実
③ 小・中(高)・隣接学校との 連携 をとおり、教師の指導力・実践力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区での合同研修・合同行事等の実施 授業の学び方などの共通理解
④ 教職員一人一人が教育の専門家としての使命と責任を自覚し、 組織を支える力量 を身に付け、学校力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度の活用 ・校内外における研修会への積極的な参加
⑤ 教職員としての視野を広げ、専門性を高めるとともに、 社会の急激な変化 に対応できる資質を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外における研修会への積極的な参加 ・タブレット等ICTを活用した積極的な実践
⑥ 教職員一人一人が 健康の保持増進 に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の質的転換及び量的削減・精選 ・業務の役割分担の検討 ・年休の積極的な取得 ・メンタルヘルスケアの充実

2 小中学校 研究主題一覧

【小学校】

No	学校名	研究主題	教科・領域
1	八重原小	SDGsの学びを通して、ふるさとに誇りを持ち、持続可能な社会の担い手となる児童の育成	全教科 全領域
2	南子安小	自分の思いを表現できる児童の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った国語科の授業を目指して～	国語
3	周西小	自分の考えや思いを持ち、豊かに表現できる児童を育てる指導のあり方 ～目的意識を持って書く児童の育成～	国語
4	大和田小	学ぶ意欲を高め、主体的に学習に取り組む児童の育成 ～キャリア教育の視点を生かした算数科教育の工夫を通して～	算数
5	坂田小	かかわり合いを通して 意欲的に学習する児童の育成 ～キャリア教育の推進を通して～	キャリア教育 算数
6	貞元小	基礎基本を身に付け 自らの力で解決する児童の育成 ～算数科の授業を通して～	算数
7	周南小	Let's Try! 主体的に学ぶ児童の育成 ～学習資源の有効活用と基礎・基本の定着を目指して～	全教科 全領域
8	小糸小	自分の考えを表現し学び合える児童の育成 ～iPadを使った学習指導の探求～	全教科 全領域
9	清和小	学ぶ楽しさを味わい、確かな学力を身につける児童の育成 ～基礎的な知識や技能を身につける算数科指導を通して～	算数
10	小櫃小	進んで学び、友達と高め合う児童の育成 ～読解力を高め、わかる喜びを実感できる国語科の学習を目指して～	国語
11	上総小	関わり合い 認め合う集団作りを目指して ～対話を通して、自分の考えを深めることのできる児童の育成～	全教科 全領域
12	北子安小	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり	算数
13	外箕輪小	自分の考えを表現できる児童の育成 ～国語科・算数科における「主体的・対話的で深い学び」の視点を通して～	国語・算数

【中学校】

No	学校名	研究主題	教科・領域
1	君津中	授業規律の徹底と基礎・基本の確実な定着 ～個に応じたきめ細やかな指導と支援を通して～	全教科 全領域
2	周西中	心と身体、学ぶ力を「自ら」鍛え、育てる生徒の育成 ～自己教育力を高めるための指導法の工夫改善～	全教科 全領域
3	周南中	新学習指導要領における評価に伴う授業実践 ～知識定着型から知識活用型授業への転換～	全教科 全領域
4	周東中	助け合い、主体的に学びあう生徒の育成 ～わかる授業を目指した学習指導の工夫と授業改善～	全教科 全領域
5	上総小櫃中	主体的・意欲的に活動できる学校を目指して ～生徒一人一人が、意欲的に活動できる支援の在り方を探る～	全教科 全領域
6	周西南中	自己肯定感と自ら学ぶ心を育てる教育活動の探求 ～認め合い、高め合うことができる主体的・対話的な深い学びを通して～	全教科 全領域
7	八重原中	互いの個性を認め合い、支え合える集団の育成 ～より良い人間関係を基盤とした授業づくり・学級づくり・進路指導に努める～	全教科 全領域

3 市内小学校及び中学校の状況

1. 学校一覧（令和3年5月1日現在）

(1) 小学校

No.	学校名	所在地	電話番号	創立年月日	児童数			学級数		
					男	女	計	普通	特別支援	計
1	八重原小	南子安 9-17-1	52-0112	明治21年 5月27日	143	107	250	10	2	12
2	南子安小	南子安 5-10-1	53-0615	昭和50年 4月 1日	238	223	461	14	5	19
3	周西小	中野 3-14-1	52-0017	明治31年 6月27日	255	230	485	17	4	21
4	大和田小	大和田 425	52-1550	昭和43年 4月 1日	161	143	304	12	5	17
5	坂田小	坂田 523	52-3428	昭和46年 4月 1日	111	112	223	10	2	12
6	貞元小	上湯江 1655	52-0018	明治 6年 6月	211	152	363	12	3	15
7	周南小	宮下 2-25-5	52-0259	明治11年 4月16日	226	183	409	13	2	15
8	小糸小	中島 678	32-2016	令和 3年 4月 1日	128	130	258	11	3	14
9	清和小	東日笠 522	38-2285	令和 2年 4月 1日	34	30	64	6	2	8
10	小櫃小	俵田 1416	35-2501	明治 6年12月 2日	70	78	148	6	2	8
11	上総小	久留里 474	27-2361	令和 3年 4月 1日	65	56	121	6	2	8
12	北子安小	北子安 853	53-1031	昭和58年 4月 1日	96	105	201	8	2	10
13	外箕輪小	外箕輪 1-34-1	57-1753	平成 6年 4月 1日	71	65	136	6	2	8
計					1,809	1,614	3,423	131	36	167

(2) 中学校

No.	学校名	所在地	電話番号	創立年月日	生徒数			学級数		
					男	女	計	普通	特別支援	計
1	君津中	杵師 1-10-1	52-0113	昭和22年 5月10日	285	234	519	15	3	18
2	周西中	坂田 560	52-1517	昭和43年 4月 1日	134	116	250	8	3	11
3	周南中	宮下 1-4-1	52-0624	昭和22年 5月10日	110	108	218	8	3	11
4	周東中	塚原 120	32-2126	平成31年 4月 1日	112	82	194	6	2	8
5	上総小櫃中	俵田 1110	35-2021	令和 2年 4月 1日	94	88	182	6	2	8
6	周西南中	中野 2-30-1	55-0190	昭和60年 4月 1日	127	156	283	9	2	11
7	八重原中	三直 1305	52-4300	昭和62年 4月 1日	102	108	210	6	3	9
計					964	892	1,856	58	18	76

2. 学校在籍教職員数（令和3年5月1日現在）

（1）小学校

No.	学 校 名	県費教職員																		市職		総								
		校		教		教		助		養		養		講		栄		栄		事		小		用		計				
		長	頭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	計			
1	八重原小		1	1		3	11					1			3				1			5	16	21		1	5	17	22	
													(2)									(2)	(2)			(2)	(2)			
2	南子安小	1		1		9	15					1			2				1			12	19	31	1		13	19	32	
													(3)									(3)	(3)			(3)	(3)			
3	周西小	1		1		7	20					1			1				1			10	23	33		1	10	24	34	
						(1)							(2)									(3)	(3)			(3)	(3)			
4	大和田小	1		1		9	11					1			1				1			12	14	26	1		13	14	27	
						(1)							(1)									(1)	(1)	(2)			(1)	(1)	(2)	
5	坂田小	1			1	5	7					1			2	1						1	8	11	19		8	11	19	
																								(1)		(1)		(1)		
6	貞元小		1	1		5	13					1							2			6	17	23			6	17	23	
																								(1)		(1)	(1)			
7	周南小	1		1		8	10					1							1			10	12	22			10	12	22	
				(1)		(11)	(6)					(1)							(1)			(12)	(8)	(20)		(1)	(12)	(9)	(21)	
8	小糸小	1		1		7	10					1			1			2			1	10	15	25			10	15	25	
													(1)									(1)	(1)			(1)	(2)	(2)		
9	清和小	1		1		3	5					1			1							1	6	8	14		6	8	14	
																									(1)		(1)	(1)		
10	小櫃小	1		1		4	6					1										1	6	8	14		6	8	14	
													(3)										(3)	(3)		(1)	(4)	(4)		
11	上総小	1			1	6	6					1							1			9	8	17			9	8	17	
																									(1)		(1)	(1)		
12	北子安小	1		1		4	7					1							1			7	9	16		1	7	10	17	
													(2)									(2)	(2)				(2)	(2)		
13	外箕輪小	1		1		4	5					1			2							1	6	9	15		6	9	15	
						(1)							(1)									(1)	(1)	(2)	(1)		(2)	(1)	(3)	
	計	11	2	11	2	74	126					13			9	12			2	2	12	107	169	276	2	3	109	172	281	
				(1)		(13)	(7)					(1)			(15)							(1)	(14)	(24)	(38)	(2)	(6)	(16)	(30)	(46)

() は非常勤職員

(2) 中学校

No.	学 校 名	県 費 教 職 員																		市職		総							
		校		教		教		助		養		養		講		栄		栄		事		小			用		計		
		長	頭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	諭	員	計	員	員	員	員	員	員	員	員	員	員
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	計		
1	君津中	1		2		16	12					2			3					1	1	23	15	38		1	23	16	39
													(3)									(3)	(3)			(3)	(3)		
2	周西中	1		1		15	7					1			2					1	1	17	11	28	1		18	11	29
3	周南中	1		1		10	4					2			1					1	1	13	7	20			13	7	20
				(1)		(10)	(10)					(1)			(1)					(1)	(1)	(11)	(13)	(24)	(1)		(12)	(13)	(25)
4	周東中	1		1		7	6					1			2		1			1	1	13	7	20		1	13	8	21
						(1)								(1)	(1)							(2)	(1)	(3)		(2)	(1)	(3)	
5	上総小櫃中	1		1		12	3					1								1	1	14	5	19			14	5	19
												(1)	(2)									(1)	(2)	(3)		(1)	(1)	(3)	(4)
6	周西南中	1		1		10	10					1		1						1	1	13	13	26		1	13	14	27
														(2)								(2)	(2)				(2)	(2)	
7	八重原中		1	1		8	8					1			1					2	2	10	12	22		1	10	13	23
						(1)								(1)								(1)	(1)	(2)		(1)	(1)	(2)	
	計	6	1	8		78	50					9		8	3	1			2	7	103	70	173	1	4	104	74	178	
				(1)		(12)	(10)					(1)		(2)	(10)				(1)	(1)	(15)	(22)	(37)	(1)	(1)	(16)	(23)	(39)	

() は非常勤職員

3. 中学校等卒業者の進路状況

(1) 卒業後の状況	区分	A 高等学校等 高等進学者			B 専修学校 進学者／ 高専課程	C 専修学校 進学者／ 一般課程	D 公共職業 能力開発 施設入学	E 就職者			F その 他	G 死亡・不 詳	卒業者 総数	Aのうち 就職者 (再掲)		Bの うち 就職者 再掲	CDのうち 就職者 (再掲)
		県内	県外	計				県内	県外	計				県内	県外		
	男		317	6	323				1		1	2		326		1	
女		286	3	289							2		291				
計		603	9	612				1		1	4		617		1		

(2) 学校種別進学状況		男	女	計	進学者の学科別内訳														
					普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	理数	体育	英語	国際 関係	福祉 教養	総合 学科	その他	
県内の学校へ	公立高校	全日制	195	166	361	233	12	5	70		5	1	2				28	5	
		定時制	2		2	2													
		通信制	2	1	3	3													
	私立高校	全日制	102	109	211	203							1		4				3
		定時制																	
		通信制	4	4	8	8													
	特別支援学校		4	2	6	4			1										1
	中等教育学校	公立																	
		私立																	
	高等専門学校国立		8	4	12			12											
計		317	286	603	453	12	17	71		5	1	2	1		4		28	9	
県外の学校へ	公立高校	全日制		1	1														1
		定時制																	
		通信制	1		1	1													
	私立高校	全日制	4	1	5	4							1						
		定時制																	
		通信制	1	1	2	2													
	特別支援学校																		
	中等教育学校国公立																		
高等専門学校国公立																			
計		1	1	9	7							1						1	
合計		318	287	612	460	12	17	71		5	1	2	2		4		28	10	

4. 児童・生徒の体位

令和2年度

性別	校 別		小 学 校					中 学 校			
	年齢別		6	7	8	9	10	11	12	13	14
男	身長 cm	市平均	117.9	123.8	129.2	134.4	140.2	146.5	154.2	161.3	166.2
		全国平均	117.8	123.5	128.9	134.4	139.9	147.3	153.9	160.6	166.3
子	体重 kg	市平均	22.5	25.4	28.6	35.7	40.0	44.2	47.0	53.1	55.6
		全国平均	21.8	25.2	28.2	32.4	36.8	40.2	45.5	50.0	55.1
女	身長 cm	市平均	116.5	123.0	129.0	133.0	139.2	145.3	152.6	155.3	156.2
		全国平均	116.7	122.7	128.2	133.3	141.5	148.3	152.4	155.2	156.9
子	体重 kg	市平均	21.5	25.0	28.2	32.1	36.2	40.6	45.4	49.0	50.9
		全国平均	21.3	24.2	26.7	30.3	34.5	41.5	44.5	47.8	50.2

※県平均は発表されていないため、全国平均と比較とした。

5. 児童・生徒の体力・運動能力

令和2年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、体力・運動能力調査を中止した。児童・生徒の体力を数値で表せないため、向上または低下の判断は難しいが、休校措置やこれまで通りの体育活動が行えないことで、児童生徒の体力低下は確実である。

各小中学校へ、体力向上プロジェクト委員会作成の運動マスターや爽走プランの活用を促し、個人でできる運動を中心に紹介した。

爽走プラン 実践編

○遊びの中から楽しく、考えながら体力を高めていけるヒントがたくさん詰まっています！

まずは試してみることが、はじめの一步。どんどん活用してください！！

初級1	P26	ケンパー 王様だるまさんがころんだ	中級1	P35	ライン鬼 ろくむし	ラ ダ ー ト レ ー ニ ン グ 集	P44	両足ジャンプ A 両足ジャンプ B
	P27	おしくらまんじゅう鬼 陣地取りじゃんけん		P36	変形ダッシュ		スラロームジャンプ(前)	
	P28	倒れ棒キャッチ 追いかけ走(うしとうま)		P37	8秒間走 ペース走		P45	スラロームジャンプ(後) ケンケンパ ケンパ
		P29		陣取りゲーム 走る距離を選ぶ短距離走	P38		まわるしっぽ取り ならびっこ	P46
初級2	P30	かけっこ 缶けり	中級2	P39	落としちゃだめ 倒れる前に		P47	パラレル(前) パラレル(後) カリオカ
	P31	しっぽ取り 1周走 向かい合い走		P40	とび石ジャンプ ジャンプオニ		P48	ツイストジャンプ スネークジャンプ
		P32	折り返しリレー S字陣取り	上級	P41		タイミングジャンプ シグナルジャンプ&ラン	フロントバック シャッフル
初級3	P33	まねっこ走り 川跳び遊び	P42		ひらり、かわして 3チーム綱引き		P49	開閉ジャンプ 1イン2アウト 2イン1アウト
		P34	王様とりゲーム 陣取り 影踏み遊び 子とり鬼		P43		ぞうきんショートトラック くも鬼	P50

○初級…低学年向け 中級…中学年向け 上級…高学年向け となっていますが、クラス・児童の様子に合わせて取り組みます。

○ラダートレーニング…巧緻性や敏捷性を高めるために考えられた基礎トレーニング。
ラダー(縄ばしごのようなもの)が無くても、テープや石灰で線を引けば手軽にできます。

例年、2回実施している「持久走ランキング」、は感染者数が落ち着いた時期に1回実施した。ただし、各学校の学習の進捗状況を踏まえ、実施できる小中学校の参加によりランキングを作成したため、これまでの平均値と比較しないこととした。

4 教育センター活動の充実

教育センターは、学校教育の目標達成、教職員の資質向上、及び人間性豊かな児童生徒の育成など、市の教育振興のために、①教育の実践指導に関すること、②教職員の研修に関すること、③教育資料の収集及び作成に関すること、④教育相談及び適応指導教室に関すること等を中心に年間を通して各種の事業を実施している。

(下記の研修一覧は、教育センター及び学校教育課事業として実施)

事業計画一覧

(1) 研修

事業名		主な事業内容
計 画	学校経営研修会（教頭）	学校運営上の課題の解決に向けた研修
	学校経営研修会（教務主任）	教育課程実施上の課題の解決に向けた研修
希 望	学校図書館担当者研修会	学校図書館担当者としての力量を高めるための研修
	知能検査実技・解釈研修会	知能検査の実施、解釈の方法等を身につけるための研修
	教育相談研修会（基礎）	教育相談の理論と実際についての研修
	生活体験指導員研修会	生活体験指導員の力量を高めるための研修
	学校図書館司書補助員研修会	学校図書館の運営充実のための研修
	道徳教育研修会	道徳教育の実践力を高めるための研修
	特別支援教育研修会	特別支援教育についての知識と理解を深めるための研修
	自主来所研修 教材研究・教育研究 教育資料の作成	市内小・中学校の教職員が、各自の課題解消のために教育センターに来所して行う研修に対して援助活動を行う。
	移動センター 小・中学校への援助 市研への援助	各学校等にセンター職員が出向き（移動センター）、学校における教育実践、研修活動及び市研に対する援助活動を行う。

(2) 教育相談

教育相談 出張相談・来所相談 電話相談・訪問カウンセリング 君津ほほえみ相談室 君津見え方相談	子どもの進路や学業、学校生活への不適應など、子どもの教育全般について、本人や親、学校からの相談に応じる。 ・月曜日～金曜日 9時～17時 君津特別支援学校地域支援担当教員による教育相談 ・水曜日（午前）金曜日（午後） 君津特別支援学校担当教員による教育相談 ・希望に応じて随時開催
---	---

(3) 適応指導教室

適応指導教室 きみつメイト さわらび相談室	心理的な要因等により、不登校状態が長期化している児童生徒への積極的な援助を行う。 ・月曜日～金曜日 9時～15時 専門医によるカウンセリングの実施 ・年間10回実施予定
-----------------------------	---

(4) 調査研究

調査・研究	教育に関する調査を行い、現場の教育実践に役立てる。
-------	---------------------------

(5) 普及・奨励

催し物	科学工夫工作・研究論文展	小・中学校の児童生徒が夏休み等を利用して作成した工作や論文等を集めて実施
貸出	教育機器・教材教具 教育図書・学習指導案	各学校の教育実践に役立てるため、教育機器や各種研究報告書、学習指導案等の収集、閲覧、貸出を実施

(6) 資料収集と作成

作成	社会科副読本配付	小学校3・4年生を対象とした資料を配付
----	----------	---------------------

(7) その他

センターだよりの発行	教育センターの活動紹介と教育情報の発信拠点として、市内各小・中学校等へ年2回配付
------------	--

5 学校給食の取組み

(1) 事業目的

学校給食は、成長期における児童生徒の心身の健全な発達、食に対する正しい理解と適切な判断力を養うため、バランスの取れた栄養豊かな食事を提供し、健康の保持・増進、体位の向上を図るとともに、正しい食事のあり方や望ましい食習慣、食に関わる様々な活動に支えられていることの理解を深めることを目的とする。

(2) 食育・食指導・個別相談指導

食事のマナーや望ましい食習慣を形成するためにも、平成31年度から学校給食で使用する食器をプレート式から個別食器に変更し、はし、スプーンを提供した。また、調理場栄養士が学校を訪問し、学級の配膳や下膳を含めて給食の様子や児童生徒への「食」に関する指導を行っている。給食や調理場の仕事について理解を深めるために、小学1年生を対象に、希望する学校に食に関する指導を行っている。

また、近年児童生徒を取り巻く生活環境や食環境の変化に伴い、児童生徒の健康状態、栄養状態も多様化・複雑化しており、肥満傾向や偏食等を原因とする生活習慣病の若年化が指摘されている。このため生活習慣病健診を行う小学4年生、中学2年生を対象に希望する学校には食に関する指導を実施している。また、生活習慣病予防健診で食に関する健康課題を有する児童生徒に対しては、個別の事情に応じた栄養相談と指導を行っている。

(3) 地産地消の推進

学校給食用の食材については、安全な食材を安定的に調達するために、地産地消を推進する。主食の米飯は、地元産のコシヒカリを使用して週4回を基本に実施し、地元産の農産物のほかにも、これらを使用した食材も使用する。

地産地消の推進を図ることにより、児童生徒には地域で食に関わる人々の様々な活動に支えられていることの理解や食料の生産、流通及び消費についての正しい理解に導く。

(4) 新調理場の稼働

平成31年度から稼働した新調理場は、「学校給食衛生管理基準」に準じたドライシステムを採用し、温度、湿度管理の徹底や汚染区域、非汚染区域を明確に区画し、食材の搬入から配送まで安全衛生管理が徹底できる調理場となっている。

また、調理場の運営については、調理、洗浄、配送、配膳の業務を民間事業者に委託し、調理過程においても「学校給食衛生管理基準」に従い、二次汚染の防止や食品の適切な温度管理を徹底し、調理を行っている。

(5) 給食費滞納問題

給食費は、令和3年度から学校給食費管理システムを導入し、市が直接保護者から給食費を徴収する方法に移行した。

未納原因は、保護者の規範意識の欠如や経済的な問題などさまざまであるが、学校給食の意義や果たす役割を保護者にも認識をいただけるよう「給食だより」等を活用して理解と協力を求めていく。

また、経済的な問題により未納している家庭に対しては、生活扶助や就学援助制度等の活用を勧め、学校と連携しながら未納問題の解消に努める。過年度の滞納分については、定期的な督促や臨戸徴収等の強化を図り、滞納整理に取り組んでいく。

(6) 残渣の減量化

給食残渣については、令和元年度から計量方法を変更し、提供した給食の量に対してどのくらい食べ残しがあったかを「残渣率」で確認することとした。これにより、献立ごとの残渣率の比較により、児童生徒の嗜好などを把握し、また給食の量が適当かどうか等の検討を行った。今後も引き続き、残渣の減量に努めていく。

【令和2年度 給食残渣率の状況】

(単位 Kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
小学校平均			14.5%	20.4%	21.0%	19.5%	20.0%
中学校平均			20.6%	24.3%	26.7%	24.7%	24.9%
全体平均			16.9%	22.0%	23.3%	22.1%	22.4%

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
小学校平均	19.6%	17.3%	13.6%	15.7%	17.0%	18.4%
中学校平均	23.6%	20.3%	20.8%	21.2%	19.7%	23.6%
全体平均	21.6%	19.0%	18.2%	19.2%	18.3%	20.4%

※4月と5月は休校のため給食なし。

(7) 主な事業

事業名	予算額	内容
調理等業務委託費	283,884千円	調理業務等の委託を行う。
学校給食食物アレルギー対応事業	263千円	アレルギー代替食の提供のための消耗品等を購入する。
給食賄材料費	301,734千円	給食として提供する野菜・米・肉等の賄材料を購入する。

(8) 学校給食における食物アレルギー対応について

これまで、食物アレルギーの対応については、医師により食物アレルギーであると診断された児童生徒に対し、特定原材料7品目及び特定原材料に準ずる20品目の計27品目が記載された「詳細な献立対応」と「日別弁当対応」「完全弁当対応」をしてきた。

これに加えて、令和3年1月からは「えび、卵、かに、乳」の4品目を含まない代替食の提供を開始した。

6 学校施設の整備

安全で快適な教育環境づくりを目指して、老朽化に伴う校舎等の改修事業を計画的に実施し、「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指した学校施設の整備充実に努める。

令和3年度の主な事業

No.	事業名	事業内容
1	(仮称)上総地区小学校統合施設整備事業	学校再編に伴い、久留里小学校を上総小学校の使用校舎として施設整備を行う。
2	小学校空調整備設置事業	学校再編に伴い、統合する大和田小学校の普通教室に熱中症対策として、レンタルエアコンを設置する。
3	大和田・坂田小学校統合施設整備事業	学校再編に伴い、坂田小学校を大和田・坂田統合小学校の使用校舎とするための施設整備を行う。
4	小・中学校屋内運動場LED照明改修事業	周西小学校及び周東中学校の屋内運動場の照明をLEDに改修し、教育環境の改善を図る。
5	上総小学校敷地整備事業	校舎周辺の崖の崩落対策に係る地質調査を行う。
6	周西南中学校屋内運動場整備事業	老朽化した屋内運動場を改修し、生徒の教育環境の改善を図る。
7	小・中学校校舎等維持補修事業	校舎等の維持補修、校内樹木の伐採などを行い、児童生徒の安全と快適な学習環境の充実に努める。
8	学校施設警備委託事業	全ての小・中学校に防犯装置を設置し、夜間における施設の安全対策を行う。

V 生涯学習

1 社会教育の推進

オンラインなど新たな方法を工夫しながら、誰もが輝くことの出来る生涯学習をテーマとして事業を推進する。

No.		生 涯 学 習 の 推 進
1	生涯学習推進にかかわる事業	<p>1 社会教育委員会議 時代に沿った社会教育、生涯学習事業のあり方などについて協議を行う。</p> <p>2 正副館長会議 各公民館相互の課題、全市的社会教育の振興及び事業を推進する上での課題や改善等について協議を行う。</p> <p>3 生涯学習バス運行事業 市民の学習活動を支援するため、移動教室の場として運行。 ・ふれあい号 55 人乗り ・かがやき号 40 人乗り (2 台で最大 500 日運行予定)</p> <p>4 コミュニティ・スクール推進事業 ・周西南中学校区コミュニティ・スクールへの支援を行う。 ・令和 4 年度導入をめざしている上総小櫃中学区の準備を進める。</p> <p>5 社会教育施設の再整備 「君津市社会教育施設の再整備基本計画」に基づき、清和公民館の更新を主とする具体計画となる「第 1 期プラン」を進捗させるとともに、「第 2 期プラン」を策定する。</p>
2	ライフステージに応じた市民協働学習の推進	<p>1 まちづくりふれあい講座 住民の学習会等に市職員を講師として派遣し、市政への理解を深め、地域づくり、まちづくりの機会提供・充実を図る。</p> <p>2 つどいの広場事業 小糸公民館プレイルームにサポーターを配置し、子育て支援講座等を実施。</p> <p>3 放課後子ども教室事業（やえっ子ひろば） 放課後の子どもたちの居場所づくりや地域との交流を目的に実施する。（八重原小学校にて実施 令和 3 年度は 10 回予定）</p> <p>4 成人を祝う集い（令和 4 年 1 月 9 日） 新型コロナウイルス感染症拡大防止策の徹底と実施方法の工夫により開催する。</p> <p>5 家庭教育支援充実事業 (1) 君津市の子育て支援及び家庭教育に携わる機関や団体のネットワークづくり。 (2) 家庭教育担当者と情報交換等の実施。</p>

3	青少年の健全育成と地域コミュニティ教育事業	<p>1 地域コミュニティ活動支援</p> <p>(1)全中学校区に設立された青少年健全育成団体等の活動に対し助言・支援を行う。</p> <p>(2)学校と、地域、社会教育との連携・協力により、地域に根ざした活動が行えるよう、情報交換や研修の場づくりを進める。</p> <p>2 子ども110番の家の推進（通年）</p> <p>3 青少年健全育成団体合同研修会（2月）</p> <p>4 青少年相談員活動支援</p> <p>(1)青少年相談員だより「こぶしの花」発行</p> <p>(2)「君津ふるさとかるた」の普及 市政50周年を記念し「令和版ふるさとかるた」を作成する。</p> <p>(3)課題研修会</p> <p>(4)君津地区青少年相談員連絡協議会事業</p> <p>(5)青少年健全育成事業補助金の交付等の援助</p> <p>5 子ども会活動支援</p> <p>(1)君津市子ども会育成連絡協議会・地区子ども会への協力・助言</p> <p>(2)子ども会活動に関する研修会等への協力</p> <p>(3)「こどもまつり」「育成者講習会」等の支援・協力</p> <p>(4)「きみつリーダーズクラブ」への支援</p>
4	読書活動推進事業	<p>「第三次君津市子ども読書活動推進計画」に沿い読書推進を図る。</p> <p>(1)君津市子どもの読書活動推進委員会の開催</p> <p>(2)ブックスタート事業の運営</p> <p>(3)子どもの読書活動推進事業に関する情報提供</p> <p>(4)家庭で読書に親しむ機会を充実させるための啓発等を行う。</p>
5	人権事業	<p>1 地域人権講座 公民館を拠点に地域の実情に即した人権学習の機会を提供</p> <p>2 人権問題学習講座（年1回）</p> <p>3 人権ミニフェスタ(12月) 人権週間を中心に、人権に関する展示、講演会等を実施</p> <p>4 人権問題講演会（市民活動支援課と共催1回）</p>
6	その他社会教育振興に資する各種事業	<p>1 社会教育関係職員研修</p> <p>(1)社会教育関係職員基礎研修会の開催</p> <p>(2)社会教育関係事業交流会の開催</p> <p>(3)国、県等が主催する研修会・講習会への積極的な参加</p> <p>2 P T A役員研修会開催（君津市P T A連絡協議会と共催）</p> <p>3 事業担当者会議</p> <p>4 視聴覚教育の推進</p> <p>5 施設の維持管理</p>

2 公民館活動

1. 君津中央公民館

(1) 基本方針

- ①市民一人ひとりの生活と心に深く根づき、市民に愛される公民館づくりをめざす。
- ②市民の学習・文化活動を支援し、住民の交流と連帯を支援するとともに、地域文化創造に寄与する。
- ③市民の暮らしに根ざした公民館活動を展開し、地域づくり（自治能力の向上）に寄与する。

(2) 運営方針

①市民参加による運営

- ・各サークルや公民館運営審議会、利用者みんなの会等との接点を通じて、市民の意見を集めるとともに、その意見を可能な限り尊重して運営する。
- ・学級、講座等の主催事業において、参加者が自主的な運営を図り、主体者意識を醸成する。

②市民の「集い、ふれあい、学びあいの場」としての利用拡充を図る

- ・地域住民が気軽に利用できる場所の提供と、地域情報を収集し、「知る、参加する」ことの出来る環境作りを進める。

③地域・時事課題に対応した事業展開をめざす

- ・地域や時事の課題を調査・分析し、必要な事業の展開を図る。
- ・コロナ禍に対応した事業展開として、目的・内容により、従来型の方法とオンライン等の新しい手法を使い分けるなど、工夫を凝らす。

④サークル、団体への援助と協力を行う

- ・サークル、団体からの相談に積極的に応じ、助言等適切な援助を行う。
- ・研修会、交流会等を実施し、サークル、団体間の交流を深め活動の活発化を図る。
- ・コロナ禍での安全な活動方法について、オンラインの活用等、選択肢を増やすような情報提供を行う。

⑤学習成果の地域への波及と展開を目指す

- ・公民館だより「ひこばゆ」やホームページを中心に、広報活動を充実し、市民により親しまれる活動を進める。また同時に住民の学習ニーズを捉え、事業の充実化を図る。
- ・学習成果が参加者のみならず地域全体に広がるような事業のあり方を工夫する。

(3) 運営と事業の重点

① 新しい生活様式に即した事業運営

ZOOMなどのオンラインツールの活用やオンデマンド配信といった手法を用い、参加者が集合しなくても学びに触れることができるような事業展開を目指す。

② 事業見直し

事業全般に関して、時代に則した事業運営ができていないか見直しを行う。

(4) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	子どもパラダイス	夏休みなどの長期休業期間に、地域の子どもたちがサークル団体・地域の人々と交流を持ちながら楽しく遊べる機会を提供する。	※7月～9月までワクチン接種会場となるため中止
2	公民館こどもクラブ	子どもたちが学習、遊び（ふれあいの時間）を通じて交流する機会を提供する。本年度は、子どもたちを集める形態にこだわらず、君津高校生などボランティアとの関係作りを中心に実施する。	小学生、君津高校生 冬休み・春休み
3	周西南中学校区成人を祝う集い	地域で成人を祝い励ます。新成人を中心として実行委員会を組織し、企画運営を行う。	新成人および地域住民 実行委員会 9月～ 集い 1月9日
4	家庭教育学級	子育てや家庭生活に関する諸課題を学習する機会を提供する。子どもの年齢や学習課題などを考慮し学級を開設する。（幼児家庭教育学級・小学校家庭教育学級の2学級を開設）	保護者や家庭教育に関心のある人 6月～1月 各6回程度
5	高齢者学級	高齢者間での仲間づくりをしながら、生きがいを見つけ、楽しみながら様々なことを学ぶ機会を提供する。（2学級開設）	おおむね60歳以上の人 未定
6	第57回君津中央公民館文化祭	利用サークル・団体等の学習成果の発表を通じて、交流の輪を広げ、豊かな地域文化創造を目指すための祭典とする。	サークル・地域団体等
7	君津中央公民館だより「ひこばゆ」	公民館だよりを通じて公民館活動や社会教育活動等の紹介、地域の話題提供などを行い、地域文化の向上を図ると共に地域情報紙としての役割を担う。	自治会配布 年3回
8	三舟の里を楽しむ教室	当地区の三舟山を題材に、「見て・触れて・感じる」自然体験を通じて、木や生き物について学びながら、地域を知るきっかけとなる事業として実施する。	小学生 10～12月 3回

9	君津市公民館交流集会～共に学ぶ市民の集い～	各公民館での取り組みを点検・評価し、地域が抱える諸課題の解決に向けた「学びと活動の循環」を目指す。	市民全般 実施日 12月 11日
10	サークル・団体活動支援	公民館利用サークル・諸団体等を対象に、求めに応じ運営等につき助言を行う。	公民館サークル・地域団体等 年間随時
11	《貞元分館事業》貞元趣味教養講座	貞元地域の歴史や文化などの学習や体験講座を通じて、地域の生活について考える機会を提供する。	貞元地区在住・在勤者 未定



高齢者学級ほのぼの学級



「みんなの力で567(コロナ)を超えよう！
目指せ568枚！フォトウォール」

2. 八重原公民館

(1) 運営方針

- ① 地域住民の自主的な学習及び文化活動などの拠点施設として、多くの人に親しまれ、共に育みあう公民館づくりを進める。
- ② 地域住民が地域コミュニティの維持・活性化のために解決すべき、暮らしや地域の現代的な課題とその対応についての学習を展開し、住民の学習意欲の向上及び地域文化活動の発展に努める。
- ③ 地域に多様な活力を生み出し伸ばしあう自主的な活動を支援し、住民相互の豊かな人間関係と地域づくりに寄与する。

(2) 運営と事業の重点

① 新型コロナウイルス感染症の状況の変化に合わせた適切な対応

運営面では安心して施設利用ができるよう、感染対策を徹底する。事業面では、例年の開催方法にとらわれず、インターネットを活用しオンライン開催や情報発信等を積極的に行う。

② 地域や社会課題に即した事業の実施

急速に進むオンライン化に対する学習会の実施や、福祉等の地域課題に対応した事業を実施する。

③ 地域団体や学校との連携・交流の推進

地域団体・学校・公民館との連携を深め、地域との接点を多く持てるよう努める。特に地域内にある小中学校、高校の児童・生徒やその家族が公民館を活用できるように周知を行う。

④ 施設利用者や事業参加者の満足度の向上を図る

利用して良かった、参加して良かったと思われるよう努める。特に主催事業については、実施後に行う満足度調査において、昨年度よりも向上できるよう、事業内容を工夫、見直しを行う。

(3) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	子ども創作体験教室	子ども達が創作や体験をする楽しさを学ぶ。	小学生 7月～10月

2	親子米作り教室	親子で農業体験をすることにより、自然の大切さと食物を大事にする心を育てる。	小学生とその家族 5～12月
3	八重原子ども自然体験教室	子ども達が自然体験を通し、身近な自然に関心を持てるような生物多様性教育を行う。	小学生 7月～2月
4	成人を祝う集い (君津中学校区・八重原中学校区)	成人を迎えたことを地域で祝うと同時に、成人としての自覚を高め、権利と義務についての認識を深める。	新成人 1月9日
5	家庭教育学級 (幼児、八重原地区)	子育てにおける親と家庭の役割について学び、地域での親と子の育ち合いを支援する。	幼児・小学生・中学生の保護者 6月～2月
6	共生のまちづくり講座	性別、障害の有無、国籍を問わず、地域コミュニティにおける課題の理解、人と人の結びつきの再構築を目指す。	一般成人 1月～2月
7	高齢者学級 「ふれあい学級」	健康で生きがいのある高齢期を過ごすために学習を深める。学級生同士の交流を大切にしながら、活発な学級づくりをめざす。	65歳以上 7月～2月
8	学び直し支援事業	高齢者を対象にスマートフォンの使い方、情報収集、コミュニケーションツールとしての活用方法を学ぶ。	一般成人 随時
9	地域再発見講座	地域の様々な資源を活かし、学習を通して地域課題や現代的な課題に取り組む機会とする。	一般成人 随時
10	福祉関係事業	地域住民・団体と連携し、地域福祉に関する課題を見つけ、取り組むことで、助け合いの関係づくりをめざす。	地区住民 随時
11	読書活動推進事業	かけはし文庫利用の促進および、読書活動の推進を図る。	一般成人 随時
12	展示スペース利用促進	コモンスペースの展示スペースに利用サークルの展示をすると共に、ホワイエに地区内小中学校及び特別支援学校の学習成果発表の機会を提供する	通年
13	八重原公民館だより「館報八重原」	公民館活動・地域活動の紹介等を、市民参加で紙面づくりをする。	地域住民 6月～3月
14	ふれあい文化祭代替事業	公民館利用者及び地区住民の学習・文化活動の発表・交流の場として開催する。	地域住民 2月予定
15	君津市公民館交流集会～共に学ぶ市民の集い～	各公民館での取り組みを点検・評価し、地域が抱える諸課題の解決に向けた「学びと活動の循環」を目指す。	市民全般 実施日 12月11日

3. 周西公民館

(1) 基本方針

- ①住民に広く親しまれ、誰もが安心して気軽に利用できる地域の拠点とする。
- ②住民の自主的な活動を支援し、地域や時事の課題をともに考え、“いくつでも誰でも何度でも” 学べる機会を提供する。
- ③地域連携や交流の拠点として、地域の教育力及びコミュニティ機能の向上に努める。

(2) 運営と事業の重点

- ①市民が安心して集い・憩い・交流する場づくり
 - ・施設内外の整備と学習環境の整備に取り組む。
 - ・オンライン等新たな手法を取り入れ、誰もが安心して参加できるような実施形態の工夫に取り組む。
 - ・広報活動の更なる充実を目指す。
 - ・新たな利用者層の開拓とリピーターの獲得を目指す。
- ②地域住民とともに取り組む公民館
 - ・公民館運営審議会および利用サークル・地域団体等、住民の主体的な係わりによる公民館運営を図る。
- ③サークルや団体の活動支援と積極的連携
 - ・利用サークル・団体への日常的な活動支援に取り組む。
 - ・新規サークルの育成と支援に取り組む。
 - ・公民館のネットワークを積極的にアピールする。
- ④暮らしや地域・時事の課題に沿った事業の展開
 - ・ライフステージに応じた、参加者にとって満足度の高い学習活動に取り組む。
 - ・地域課題に向き合い、学習成果が次の地域活動に発展する事業に取り組む。
- ⑤地域連携の拠点
 - ・公民館の特色を発揮し、地域の各機関・団体との関係性を高める。
 - ・情報の収集・発信に積極的に取り組む。

(3) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	すさい子ども教室	異年齢交流の場の創出と子どもの「遊び」の幅を広げること目的に、創作・体験・学習活動を実施。支援ボランティアも募集。	通年(放課後・長期休暇) 小学生
2	おやこ体験教室	「公民館ならではの」の視点を大事に、親子の絆を深め、公民館活動に参加する機会や保護者同士の交流機会を創出する。	6月～2月、年6回程度 未就学児、小学1～2年生と保護者

3	成人を祝う 集い	実行委員会を立ち上げ、新成人が企画・運営を行うなかで、青年が大人になった自覚を持つことのできる機会、並びに地域の人々との交流を図る機会とし、青年教育の推進と地域の活性化を図る。	実行委員会：9月頃～ 集い：令和4年1月9日 (日) 新成人および地域住民
4	子ども バスハイク	見学や体験を通して、子どもたちが視野を広げ、興味や関心を高める機会を創出する。青少年相談員との共催事業。	令和3年9月18日(土) 小学生
5	周西幼児家庭 教育学級 (たんぽぽ学級)	乳幼児期の家庭教育のあり方について学習する。孤立した子育てにならないよう、親同士のつながりを深める。※「保育」については今後の検討課題。	6月～1月、年8回程度 乳幼児の保護者20人程度
6	思春期家庭 教育学級	令和2年度見直し。思春期の子どもの変化と向き合い、保護者が家庭で直面する課題を取り上げる。	10月～2月、年5回程度 思春期の子の保護者20人程度
7	子育て地域 支援事業	令和2年度見直し。家庭教育支援に資する講演会等企画。	年1～2回 地域住民
8	高齢者学級 (おとなの放 課後倶楽部)	令和2年度見直し。様々な生活課題や幅広い分野について、講義や実技を通じて、楽しく有意義に学ぶ。	6月～2月、年10回程度 60歳以上の周西地区居住者
9	高齢者 交流事業 (お達者倶楽 部・ゆいまー る)	令和2年度見直し。70歳以上の周西地区住民を対象に高齢者同士の仲間作りを促し、生活課題を楽しく学習する。君津西地区社会福祉協議会と連携する。	6月～2月、年4回 70歳以上の周西地区居住者
10	女性教室	日々の暮らしを豊かにする学習・体験活動に取り組み、地域女性の関係性や連帯感づくりの機会とする。	5月～10月、年3回程度 女性
11	学びなおし 支援事業	社会人のスキルアップ、職業に必要な技能、学齢期の学習内容など、学校卒業後における学習ニーズに資する事業を実施。	地域住民

12	人権関連事業	人権意識の向上や理解を深めるための学習機会とする。	地域住民
13	地域学習講座「周西まるかじり」	君津市市制施行 50 周年記念事業とタイアップ。題材は周西地区の歴史・自然・文化など。「100 の記憶」に取り組む 2 年目。記録集の作成を目指す。	地域住民
14	趣味教養講座	新規利用者の拡大を目指すとともに、地域活動参加のきっかけづくりとして実施する。終了後の自主サークル設立も視野に入れ取り組む。「手話」を取り上げる予定。	地域住民
15	地域課題解決支援事業	「学び」と「地域」に軸足をおいた公民館の各種の機能を用いて、地域課題解決に資する学習・活動を行う。	通年 地域住民
16	周西公民館だより「はまっぺ」発行事業	地域の住民の暮らしに関わることや活躍の様子、地域の動きや公民館事業などを掲載し、地域情報紙としての役割を担う。住民編集委員を委嘱しより身近な紙面を心がける。	年 4 回発行 地区内
17	第 15 回 周西公民館地区文化祭	実行委員会を組織、地区文化祭として公民館主催事業ならびに地域住民の文化・学習を発表し、地域自治と文化の振興につなげる。※特別企画「100 の記憶」とのコラボ。	11 月 25 日～12 月 1 日 サークル・団体、地域住民代表者
18	君津市公民館交流集会「共に学ぶ市民の集い」後継事業	各館での取り組みを点検・評価し、これからの公民館活動を方向付け、地域が抱える諸課題の解決に向け「学びと活動の循環」を目指す。会場館：君津中央公民館、事務局：周南公民館。	一般

4. 周南公民館

(1) 運営方針

健康でうるおいと生きがいのある生活の実現を求めて次の基本方針に基づき運営する。

- ① 地域住民の「楽しく親しみやすいふれあいの広場」「住民相互のきずなを深めるとともに地域の文化を醸成し合う文化創造の広場」「主体性と協調性を培う学習の広場」を目指す。
- ② 地域住民の自主的活動を支援し、学習意欲の向上を図り、地域の発展と自治能力の向上に寄与する。

(2) 運営と事業の重点

①市民参加の運営体制づくりと施設整備

- ・新規・既存事業ともに住民が主体的に事業運営に関われる機会を充実させる。
- ・利用者および地域住民が安心して利用できるよう、計画的な修繕・点検および日常的な消毒作業の徹底、感染症対策を行う。

②事業内容の充実と主体的学習集団の育成、各種団体への援助

- ・セカンドライフ支援や子育て支援等、世代や生活背景を考慮した多様な学びの機会づくりを進める。
- ・コロナ禍および新しい生活様式を踏まえ、事業内容の工夫やICTを活用した事業に取り組む。

③地域の教育力・生活力・自然・文化等の掘り起こしと向上

- ・多世代が住みやすい地域づくりに向け、関係機関・団体と連携し、共催事業の実施や居場所づくり、情報交換を進める。

④公民館及び地域活動の記録保存とその活用

- ・これまでに記録保存されてきた情報を主催事業で活用するだけでなく、地域の資料として活用できるよう整理、発信に取り組む。

⑤分室活動の充実

- ・中央図書館と連携し、地域のニーズや生活課題に即した蔵書の充実、主催事業等での図書資料の活用を図り、利用者の増加を目指す。
- ・図書に関する情報提供や時節に合わせた特集コーナーの設置、書架のレイアウトの工夫や他団体との連携した取り組みにより図書に親しむ機会をつくる。

(3) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	子ども教室「わいがやひろば」	工作や自然体験などを通じて発想力を養い、地域の大人との交流を図る。	年5回(平日休みや短縮授業日に実施)・小学生

2	周南地区 成人を祝う集い	新成人者自らが実行委員会を作り、大人となる自覚を持つ機会、地域交流の提供。	1月9日・新成人者
3	農業講座	周南地域の農業課題に積極的に取り組む等学習機会の提供を図る。	年3回・専・兼業農家
4	家庭教育関連事業	①八重原・周南合同幼児家庭教育学級 ②周南家庭教育学級関連事業(2事業) ③家庭教育関連講座	①年8回程度 ②年5回程度 ③年3回・地域住民
5	周南寿学級	高齢者が心身共に健康で生きがいのある充実した生活を送るための学習。	年6回・高齢者
6	かんたんスマホ講座(仮)	高齢世代を対象に、スマートフォンの基本的な操作等を学びながらICTに慣れ親しむ機会を作る。	年2回程度・地域住民
7	セカンドライフ支援事業	ニーズに応じて住民が年齢にとらわれずに活躍できる地域を目指し、シニア世代の新たな社会参加のきっかけを行う。	年2回程度・地域住民
8	周南みどり塾	里山についての理解や、地域自然環境・生活環境への意識を高める。	年3回・地域住民
9	青少年健全育成活動	「周南地区青少年を健全に育てる会」との連携。	通年
10	館報「ひろば」編集発行事業	住民編集委員体制による取材編集と発行により地域情報紙としての役割を担う。	年4回発行
11	ふるさと運動	◇郷土文化継承活動◇郷土芸能継承活動 ◇地域連帯活動(ソフトボール大会)	4月～3月・地域住民
12	周南の文化・芸術発表会(周南地区文化祭代替事業)	郷土の文化創造と地域住民の交流を目指し、様々な文化活動や地域活動について発表する機会とする。	10月下旬
13	君津市公民館交流集会～共に学ぶ市民の集い～	各公民館での取り組みを点検・評価し、地域が抱える諸課題の解決に向けた「学びと活動の循環」を目指す。	市民全般 実施日12月11日

5. 小糸公民館

(1) 運営方針

いつでも誰でも気軽に集い・学ぶことのできる場づくりを推進し、地域住民の生活実態や意識に基づいた自発的な学習活動を展開する。各種団体・利用サークル等の活動支援・育成に努め、地域連帯意識の高揚と協同の輪づくりを行う。これらにより地域文化の創造を図る。

(2) 運営と事業の重点

① 民主的な公民館運営体制づくりと使いやすい施設整備

- ・公民館運営審議会や利用者懇談会等の意見、要望を公民館運営に反映させる。
- ・住民の生活実態の把握と、地域の様々な層からの意見収集に努める。
- ・公民館だより「こいと」は、地域住民によって編集を行い、地域の話題や課題について積極的な情報収集を行い、「地域の広報」の役割を充実させる。
- ・「地域住民のふれあいの場」となるよう、古くても安全に清潔に使いやすく、いつでも誰もが気軽に集い、学ぶことができる場づくりを進める。

② 各種団体の育成、各種団体への支援

- ・公民館と地域の諸団体・関係機関との連携・交流を図り、幅広い意見を求め充実した運営体制を築くとともに、団体等の活動に対する支援を行う。

③ 青少年の健やかな成長と地域ぐるみの青少年健全育成のための環境整備

- ・青少年健全育成に関係する団体や機関と地域住民をつなぎ、一体となった活動を積極的に展開しながら、青少年の健全な育成活動を推進する。
- ・青少年の自然体験や地域の人々とのふれあいを育む学習を推進する。
- ・地域の青年層の実態を把握し、地域とつなぐ活動を推進する。
- ・周東中学校区の交流を目的とした、活動を推進する。

④ 子育てに関する学習機会の提供と子育て支援事業の充実

- ・親の学びと学習活動を支えるために、継続的な学習機会の充実を図り、主体的に考え活動できる運営の工夫を図る。
- ・親の目線に立ち、安心して使えるおもちゃや備品の充実に努め、子育て仲間や子どもたちの憩いの場として「プレイルーム」を整備し、子育て支援事業の充実を図る。併せて、プレイルーム運営委員会の活性化と活動の充実を図る。

⑤ 高齢者の健康で豊かな老後と生きがい形成に資するよう、継続的な学習機会の提供と活動支援の充実を図る。

⑥ 地域の防災力を高める学習機会の提供

- ・自治会等地域と連携を図りながら、地域の防災力を高めるとともに、避難所運営

の改善を図る。

- ⑦ 君津市立中央図書館小糸分室の蔵書の充実と、地域と連携した読書活動の推進
 - ・中央図書館と連携し、より利用しやすい分室づくりを進める。
- ⑧ 君津市施行 50 年及び小糸公民館開館 50 年の節目にこれまでの歴史を記録する。
 - ・アンケート・座談会等を行い、地域の声を集め記録し、今後の運営に活かす。

(3) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	第 50 回小糸地区文化祭	住民・サークル・団体などの日頃の学習・文化活動の発表と交流。 展示を中心とした発表の場とする。	地域住民、サークル、 学校、地域諸団体等 ・11月23日～28日
2	公民館だより「こいと」 発行事業	公民館活動や社会教育活動等の紹介、その他地域の問題を編集委員体制で編集し発行する。	自治会配布 ・6月,10月,1月, 3月発行
3	成人・親子事業	大人の学び舎「小糸 Juku」 地域や暮らしに関わる学習の場。 コミュニティカフェ「こいカフェ」 小糸防災力講座 住民提案型協働講座 小糸親子教室 親子による体験活動を通じた地域交流を行う。	地区住民 ・年2回 ・年2回 地区住民 地区住民 小学生とその家族 ・年7回
4	家庭教育・子育て支援 関連事業	小糸家庭教育学級 子どもの心身の発達や、生活のあり方等について学習する。 つどいの広場事業 プレイルームの効果的な利用を図り、室内整備、子育て中の保護者を対象に各種事業を実施する。	乳幼児・小学生をもつ保護者 ・5～12月年8回 18歳未満の子ども及び乳幼児の子を持つ保護者 ・通年
5	チャレンジスクール	子どもたちが青少年相談員との交流をもちながら、楽しさを味わい、仲間の輪を広げる場とする。	小学校3～6年生 ・8～12月年4回
6	成人を祝う集い	実行委員会を組織し、つどいの企画・運営を行い、新成人と地域の人とともに祝う。	新成人 実施日1月9日
7	いきいき学級 (小糸高齢者学級)	高齢者がつどい、学び、生きがいを見つける場づくりを進める。	65歳以上の人 ・6～12月年7回
8	君津市公民館交流集会～共に学ぶ市民の集い～	各公民館での取り組みを点検・評価し、地域が抱える諸課題の解決に向けた「学びと活動の循環」を目指す。	市民全般 実施日12月11日

※子どもキャンプは中止

6. 清和公民館

(1) 運営方針

- ① 自ら考え、仲間と行動する心豊かな人づくり（育ちあい）をとおして明るく活気のある住みよい地域づくりに貢献する。
- ② 住民の自主的学習、文化スポーツ活動の拠点としての役割を高め、地域文化の継承発展に努める。
- ③ 住民が主体となった地域づくりや住民自治の充実に向け、暮らしに即した公民館活動を積極的に展開する。

(2) 運営と事業の重点

- ① 地域の特色を活かした事業展開
地域コミュニティのつながりを活かしながら、地域内外の交流を促進する。
- ② 『館報せいわ』発行事業の充実
編集委員会活動の発展と、住民との結びつきを強める紙面づくりを行う。
- ③ 子ども・若者・高齢者の活動を支援する地域の輪の拡充
子育て支援・青少年教育・高齢者支援事業の充実を図り、活動支援の体制を作る。
- ④ サークル団体や地域団体の育成・援助、団体・機関等との連携や連絡調整
- ⑤ 地域に残る伝統芸能・文化財の継承支援、保存への寄与
- ⑥ 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた事業の実施、「新しい生活様式」に即した事業展開
- ⑦ 旧秋元小学校施設移転へ向けた準備、施設の補修・改善・耐震化など住民が利用しやすい公民館運営



「新しい生活様式」に即した事業展開①

文化祭代替企画として特別展示「おらが作品展」を実施。「作品展示会」という形式の中で、コロナ禍での活動の工夫を参加者・公民館の両者で共有することができた。



「新しい生活様式」に即した事業展開②

新型コロナウイルス感染拡大防止対応として、利用者・サークル団体を集めて「利用者研修会」を実施。館内の消毒方法を確認することで、感染防止への意識を高めた。

(3) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	公民館だより 「館報せいわ」発行	公民館活動等の掲載や、地域の動き、人々の暮らしを伝える地域の情報紙。編集委員体制により編集、発行。	年間4回発行 地域住民
2	子ども教室 「遊びの王国」	子どもの人口が減少する地域環境の中、異年齢集団での活動や、学校統合後の児童間交流を図れるような機会を提供する。	平日の午後 (昼休み、放課後等)
3	(仮)子どもキャンプ代替事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため子どもキャンプが中止となったことから、代替事業を実施する。	時期未定 小学4～6年生
4	新春ちびっこ大会	子ども達がお正月の遊びの楽しさを味わい、仲間の輪を広げる場とする。かるた・凧あげ・こままわし・餅つきなど。	1月8日 地域の小学生
5	清和こどもプロジェクト 2021	地域に関心・愛着を持つ青年が増えるよう、地域を基盤とした若者集団を形成し、活動の輪を広げることを目的に、各種行事を企画運営する。	随時参加者との企画運営会議を実施。
6	成人を祝う集い	実行委員会を組織し、新成人を祝い励ます。同時に、新成人が地域住民との交流を深める機会を提供し、青年教育の推進、地域の活性化を図る。	1月9日 新成人者
7	子育て支援事業 「子育て教室 わいわいせいわ」	子育て世代を中心とした“居場所”作りや仲間づくりを行う。また、未就園児が出会い、ふれ合う機会を設けることで、地域を拠点とした子育て支援を実施する。	6月～2月 年9回実施予定 乳幼児～小学生を持つ保護者
8	子育て支援事業 「親子教室」	親子・家族間でのふれあい活動を通して、お互いの立場を理解しながら育ちあいを図る。親子での創作・体験や年間活動を実施。	7月～2月 年6回実施予定 地区内の親子20組
9	お飾り作り教室	生活文化の伝承を通じて、世代間交流や地域内外住民の交流の場とする。	12月12日 一般成人
10	高齢者支援事業 高齢者学級	福祉ケアの視点で、高齢者の居場所作りや生きがいづくりの場を提供する。また、体操や介護予防など健康に関する話題について学ぶことで、心身ともに豊かな生活を送ることを目指す。	6月～2月 年8回実施予定 60歳以上
11	地域団体・関係機関との連携 「体験せいわ学」	NPOや清和地区体育協会など、地域内の各種団体との連携を図ることで、地域コミュニティの維持に寄与する。また、清和地区以外の人を参加対象にすることで、交流人口の拡大を図る。	年15回 うち9回共催実施 小学生以上
12	「清和の魅力探訪ウォーク」		日程調整中 小学生以上対象
13	君津市公民館交流集会～共に学ぶ市民の集い～	各公民館での取り組みを点検・評価し、地域が抱える諸課題の解決に向けた「学びと活動の循環」を目指す。	市民全般 実施日12月11日

※上記の内容・日程は、6月時点のものです。新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、変更する場合があります。

7. 小櫃公民館

(1) 基本方針

- ① 地域住民が心身ともに健康であり続けるために、公民館事業を意欲的に展開し、学習・文化・社会体育活動の発展を図る。
- ② 地域住民の学習、交流、活動の拠点をめざし、地域に根ざした公民館活動を展開することで、地域住民の誰もが元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会づくりを目指す。
- ③ 地域住民がより身近な場所で学習したり、「新しい生活様式」を踏まえた新たな人とのつながり方やかかわりあえる機会を創出するため、積極的に館外へ出向いたりオンラインの活用を通じて地域の活性化を推進していく。

(2) 運営と事業の重点

- ① 公民館活動に関わる人の裾野を広げ、施設を利用しやすい環境整備を推進する。
- ② 青少年の健やかな成長を願い、その活動を支える地域の輪(和)づくりを支援する。
- ③ 住民の学習と交流の機会の拡充に努める。
- ④ 団体・サークル活動の育成・援助に努め、地域のネットワークづくりを支援する。
- ⑤ 情報の収集・整理・発信を通じて地域活性化を目指す。

(3) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	小櫃・上総地区 公民館運営審議会	小櫃・上総地区の課題に向き合って住民の意見を十分に受け入れ、民主的で活力ある公民館の運営を図る。	委員 8 名 年 3 回(9～3 月中)
2	団体、学校支援・連 携事業	(1) 地域団体の支援・育成 ①小櫃公民館利用者連絡協議会・サークル ②小櫃の元気なこどもを育てる会 ③地域団体(シニアクラブ・自治会等) (2) 学校連携 ①「総合的な学習の時間」 ②小学校 1000 ヶ所ミニ集会 ③県立君津青葉高等学校連携事業「草花教室」 (3) 地域団体連携 ①おしゃべりウォーク	(1) 通年、地域団体、サークル等 (2) ①春季、②1 月下旬、③秋季 3 回程度、機関・団体、地域住民 (3) ①10 月、地域住民

3	館報「おびつだより」の編集・発行	住民有志の編集委員と共に、地域の学習・文化・暮らし等を取材・編集し、小櫃地区独自の親しみやすい広報紙を目指す。	印刷部数 1,700 部 地区内毎戸配布 年 4 回
4	おびつ里山コンサート	地域住民が文化芸術活動をもっと身近な場所で楽しむことができるようにコンサートを実施する。また、君津市在住の若手演奏者を起用することで、君津市の芸術文化活動の活性化を図る。	12月18日(土)
5	おびつミニフェスタ(小櫃地区文化祭代替事業)	「新しい生活様式」に沿う形で公民館が運営の主体となり、地域団体や住民の文化活動等の成果を展示・発表し交流の場を提供する。	4日間 10月28日(木)～ 10月31日(日)
6	成人を祝う集い	20歳の青年の門出をともに祝い励ます行事を通じて、青年が大人になった自覚を持つことの出来る機会、並びに地域の人々との交流を深める機会を提供し、もって青年教育の推進と地域の活性化を図る。	実行委員会 (9月～2月) 成人を祝う集い (1月9日)
7	地域課題や生活課題解決に資する事業	過疎と少子高齢が進む中で、持続可能な地域社会を創り上げていくために、地域課題や生活課題をテーマにした学習会を行う。 (1) 小櫃地区防災講座 (2) 大人の学び直し事業「シニア ICT リーダー養成講座」 (3) 「おびつスマイルサロン “いーね”」	(1) 11月、自治会 (2) 6月、地域住民 (3) 毎月、準備会
8	青少年支援事業	(1) 子ども会等関係者会議 (2) 子どもひろば (3) 青少年相談員連携事業 (※子どもキャンプは中止)	(1) 5月31日(月)、 学校、地域子ども会 (2) 7月、1月小学生 (3) 7月、小学生
9	成人教育事業	趣味教養の向上や地域学習、文化芸術鑑賞など様々なテーマを設け、市民の学習・交流を深める機会を創出する。 (1) 趣味教養講座「みなうた」 (2) 地域学習講座「小櫃学」	(1) 7月～10月、 市民 (2) 11月、市民
10	家庭教育関連事業 「子育てひろば『あったかパーク』」	子育て世代が、子どもの家庭教育と家庭生活に関する正しい知識をもち、健康で豊かな子どもを育てる家庭をつくるために家庭教育に関する集団学習の場を設ける。 (上総公民館と共催実施)	7月～12月、対象地区在住の子育てに関心のある人
11	高齢者学級「ほほえみ学級」	高齢者が生きがいをもち、学び・交流する機会を設ける。	6月～3月、高齢者
12	君津市公民館交流集会～共に学ぶ市民の集い～	各公民館での取り組みを点検・評価し、地域が抱える諸課題の解決に向けた「学びと活動の循環」を目指す。	市民全般 実施日 12月12日

8. 上総公民館

(1) 運営方針

- ①地域住民の身近な学習・交流の拠点施設として、様々な年代が利用し易い公民館を目指す。
- ②地域の実態や課題に根ざした公民館事業を推進し、学習意欲と自治能力の向上を図り、地域活性化と文化活動の発展を目指す。
- ③他機関・団体と積極的に連携・交流を図り、地域の豊かな人間関係作りと共同の輪作りを進める。

(2) 運営と事業の重点

①地域住民を大切にす公民館運営の推進と施設整備

- ・公民館運営審議会、利用者連絡協議会、分館事業推進委員会等との積極的な意見交換を行い、公民館運営や事業に反映させていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、「新しい生活様式」を踏まえた事業や、オンライン事業など幅広い年代が参加しやすい公民館事業に取り組み、身近な地域活動・交流拠点として、様々な方が活動しやすい施設整備を進める。
- ・住民、団体、機関等との「新しい生活様式」を踏まえた、話し合いの場を積極的に設け、地域全体で公民館を使いこなす力量を高めるための助言や支援を行い、相互に信頼関係を強める。

②地域課題に積極的に取り組む事業作りと誰もが参加しやすい学習機会の提供

- ・防災、高齢化、過疎といった地域課題について学ぶ機会を積極的に取り入れ、地域を支える人材育成を進める。
- ・少子化地域ならではの子育て支援・青少年教育の充実を図り、地域の交流と担い手作りを進める。
- ・住民の学習活動を積極的に支援するため、図書分室の充実と利用促進、地域資料及び情報の収集・活用を図る。

③広報・周知活動の工夫と充実

- ・「公民館だより」「分館だより」の紙面の充実を図り、地域と公民館を結びつけるよう、地域の動きや情報を追った記事を大切に紙面と編集体制を作る。
- ・ホームページの定期的な更新に努めるとともに館内掲示板などを積極的に活用し、新たな利用層に向けた公民館事業の情報発信に務める。
- ・ICTを活用した定期的な情報発信に取り組む。

④人権学習の充実と地域を支える人材育成とつながり作り

- ・豊かな人権意識の醸成を目指し、学校や地域の人材と連携を図りながら、上総地域に即した人権教育事業を推進する。

- ・これからの上総地域を支える人材育成及び人材発掘に努め、地域に豊かな人間関係の土台作りを行う。

(3) 主要事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	小櫃・上総地区 公民館運営審議会	公民館事業の企画実施、施設整備、両地区の連携等について調査・研究・審議する。	年4回 委員8名
2	公民館DEチャレンジ	自然に親しむ活動や創作活動を通し、区内児童の交流と体験活動の場を作る。	年4回程度 管内小学生
3	成人を祝う集い	新成人の新しい門出を祝い励ますため、三地区(久留里・松丘・亀山)で集いを実施。	準備会 未定 集い 1月9日 新成人者
4	児童室飾りつけ 隊	子育て・孫育て世代が使いやすい児童室を目指し、利用者の視点を反映させた部屋作りや企画を行う。	隔月1回程度木曜日 子育て・孫育てに関心のある方
5	上総人権教育推進事業	下町集会所の活用や地域内の学校との連携等を通して、人権学習の充実と推進を図る。	子どもふれあい教室 年3回 地域住民交流教室 年3回
6	さわやか学級	健康で生きがいのある日々を過ごすため、共に学びあい交流を深め合う。	10月～2月 60歳以上
7	上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室	自分たちの地域を足で歩いて確認し、地域の良さや魅力について考える機会とする	11月～2月 一般成人、青少年
8	みんなの活動 発表・展示会	様々な文化活動や地域活動、公民館の諸事業について発表する機会とする。	発表：11月6・7日 展示：11月6日～14日 地域住民
9	上総公民館だより 発行	地域と公民館を結ぶパイプとして発行する。	年4回 (6月 10月 12月 3月)
10	分館事業	松丘分館・亀山分館の各地区において、分館だよりの編集・発行や趣味教養講座等を実施する。あわせて地域づくりを担う人材の育成と地域住民同士の交流を図る。	たより発行 各年3回 お飾りづくり講習会(松丘)、認知症予防教室(亀山)
11	大人の趣味教養講座(令和にいきる!スマホ塾)	高齢者を対象に、スマートフォンなどを利用した情報の入手方法・発信方法を学ぶことにより、災害時や緊急時などに適切に情報を得られるようにする。また、自分の現状について発信することや他者の情報を入手することで、コロナ禍においてもインターネット経由してつながることで社会からの孤立化を防ぐ。	基礎編： 5月20日 5月26日 情報活用編： 6月8日

12	ICT 活用事業 「館長さんところ ぐまちゃん～ゆるっ と上総日記～」 (YouTube 動 画配信事業)	コロナ禍において公民館の主催事業等の中 止が多々あり、地域の人が公民館に來れ ない状況がある。そこで、オンラインを活 用したユーチューブ配信を行うことで、公 民館の存在を身近に感じられるよう、また 新しい層が公民館活動や上総地区に興味 を持ってくれる契機とする。	第 1 弾： 3 月 19 日配信開始 第 2 弾： 7 月 14 日配信開始
13	君津市公民館交 流集会～共に学 ぶ市民の集い～	各公民館での取り組みを点検・評価し、地 域が抱える諸課題の解決に向けた「学びと 活動の循環」を目指す。	市民全般 実施日 12 月 11 日

※第 50 回上総地区文化祭は令和 4 年度に延期。

※子どもキャンプは中止。代替としてペットボトルロケット大会を実施。

9. 上総地域交流センター

(1) 運営方針

- ①生涯学習・市民の相互交流活動に関連する業務を積極的に進める。
- ②小櫃・上総地域を視野に入れ、これまで公民館で培ってきた地域との絆を大切にしながら、幅広い市民の交流の場づくりを進める。

(2) 運営と事業の重点

- ①副次核構想の中心となる久留里地区の活性化を推進する。
君津市副次核構想推進対策協議会をはじめとする地域団体や機関、首長部局等と情報交換を図り、地域の活性化につながる場作りを進める。
- ②小櫃・上総地区の生涯学習活動・文化活動の活性化につながる事業に取り組む。
まちなみ塾と連携し、「新たな生活様式」を踏まえた様々な世代が参加できる事業を実施する。

(主要事業)

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・対象
1	「まちなみ塾」との連携事業	地域活性化に関する事業の企画・運営等 ・落語フェスティバル ・まちなみコンサート ・鄙の雛展	通年・地域住民 11月6日 12月17日 2月26日～3月6日
2	花いっぱい運動	県立君津青葉高校、上総ロータリークラブ、地域のガーデニングボランティア等と共催し、上総地域交流センターの花壇等の植栽美観整備を行う。	6月18日 年2回植栽

3 中央図書館

(1) 運営方針

市民の自主的な学習を支援する「知の拠点」とするため、来館者の読書環境整備や利便性向上を図り、市民の課題解決を支援する。

(2) 事業目標と具体的業務

① 図書館の「知の拠点化」の推進

市民の自主的な学習や地域の課題解決を支援するため、ビジネス支援、シニア・介護、医療健康などの市民ニーズに応じた資料の収集や、レファレンスサービスの充実を図る。また、効率的に情報収集できるよう、パスファインダー（調べ案内）の作成、ブックリスト（おすすめの本、新刊）を配布する。

② 市内全域での図書館利用の推進

電子書籍サービスの導入など非来館型図書館サービスの充実や、市制施行50周年記念図書館利用券の作成、移動図書館巡回場所の見直しなどにより、市内全域および未利用者への図書館利用の促進を図る。

③ 施設の効果的な維持・更新・整備

セキュリティ対策を強化した通信環境による会議室等の機能の充実など市民が快適に利用できるよう施設の整備を行う。

(3) 令和2年度の成果と課題

成果

① 市民の課題解決の支援

臨時休館中に書架の大規模な配置の見直しを行い、課題解決のための資料が探しやすいように資格取得コーナー、シニア・介護コーナーの設置、こどもとしょかんの本のレイアウトを変更した。また、パスファインダー（調べ案内）について3種類を新規作成し、2種類の改定をした。

今後も市民が効率的に資料を探し、課題の解決をできるよう支援する。

② 新型コロナウイルス感染症への対応

基本的な感染症対策（マスク着用、手指消毒、滞在時間の短縮）を利用者に呼びかけるとともに、サーマルカメラの設置、利用者用手洗い場7か所を自動水栓式に改修、非接触型体温計やマスク、消毒液等の消耗品を購入した。

状況にあわせ、全サービス停止、臨時休館中における一部サービスの提供、利用時間、閲覧席、開架場所等を一部制限するなどの段階的な再開を行った。

今後も感染症防止対策をとりつつ、非来館型のサービスも検討していく必要がある。

③ 施設の長寿命化に向けた対策

- ・ 個別施設計画を策定し、事後保全型から予防保全型の維持管理への転換とともに、計画的な改修を行い、施設の長寿命化と財政負担の平準化を図る。
- ・ 空調設備更新事業の実施設計に着手したが、照明設備と一体的に設計することで、効率的な施工方法、費用、工期の短縮が見込まれるため、あわせて照明設備更新の設計業務を追加した。このことにより、令和2年度内では適正な工期を確保できなくなるため、令和3年度に繰越して執行している。

(4) 令和3年度事業計画

事業名	主な内容
中央図書館資料購入事業	中央図書館、移動図書館及び6分室の図書、逐次刊行物（新聞、雑誌）を購入する
中央図書館資料貸出事業	新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、新しい生活様式を踏まえ、段階的な再開により貸出等の図書館サービスを行う
移動図書館の運行	市内約30か所に2週間に1度巡回し、貸出等のサービスを行う
市制50周年記念利用券の発行	きみびょんがデザインされた特別版の利用券を中学生以下を中心に希望する市民に発行する
団体貸し出し	保育園、幼稚園、学校等で授業や保育に必要な資料の団体貸し出しを行う
中央図書館読書推進事業	ボランティアの育成、大活字本等の購入、おはなし会の運営など潜在的ニーズを含めた読書活動を支援する
図書館「知の拠点化」推進事業	電子書籍サービスの導入、通信環境の整備、ビジネス支援・医療健康情報の提供など市民の課題解決への支援を行う

映画観賞会、わらべうた、おひぎにだっこのえほんのかい、おはなし会、ボランティア養成講座、ブックリサイクルフェアなどの集会事業は、新型コロナウイルス感染症等の状況にあわせ開催を検討する。

4 生涯学習交流センター

(1) 基本方針

- ① 本市の生涯学習や市民交流の中核として、親しまれ、信頼される施設を目指す。
- ② 市民が、いつでも、誰でも、様々なことを学ぶことのできる機会を提供する。
- ③ 市民が、広範囲かつ相互に交流を深める機会を提供する。
- ④ 当センターの機能やサービスの内容を市民に広く周知し、理解を深める工夫を行い、利用者の拡大に努める。

(2) 運営方針

① 市民の学びと交流の輪を広げる

新型コロナウイルス対策を踏まえながら、現代社会の様々なテーマに関する学習講座を開設するほか、市民の相互交流を深める各種イベントを開催する。

また、子育てサポーターの活動支援や子育ての課題に応じた事業を展開することで、子育てや家庭教育を支援する。

② 子どもたちにふれあいのなかで成長する機会を提供する

親子のふれあいを深める機会などの創出や、子ども同士や世代間の交流を深める各種体験学習を開催する。

③ 学びに関する様々な情報を提供する

情報コーナーを活用して各種サークル情報やイベント情報を提供する。



IT講習会



生涯学習講演会
「はじめてのアンガーマネジメント」



こっころ一む事業
「クリスマスミニイベント」

事業名称等	内 容	
市民相互交流・生涯学習促進事業	子育て支援事業	子育てサポーターによる「傾聴」を基本とした相談活動を行う。子育ての悩み、不安を抱える親に子育てや人間関係の改善に繋がるような支援や相談、子育て情報の提供を行う。
	生涯学習講演会	市民の自主的な学習活動を推進するために、生活課題を学習する講座、まちづくり活動につながる講座を実施する。 [生涯学習講演会] 多世代、様々な内容の講演会を開催し、多くの方々の生涯学習への意識を醸成する。 一部の事業は各公民館と連携して実施し、市内全域への生涯学習機会の提供を図る。
	市民相互交流事業	市民生活の質の向上と地域との交流を図るため、多目的ホールなどを使用して、コンサートなどのイベント等を新型コロナウイルスの状況に配慮した形で開催する。
子ども相互交流事業	保育室・児童室関係事業	保育室・児童室（こっこる一む）において子どもが安全に過ごせるよう、条件整備を行う。利用している親子のふれあいや親同士の交流を図るため、親子で遊ぶ事業を展開していく。
生涯学習情報提供事業	生涯学習情報の提供	生涯学習情報の収集・整理・提供を行う。 ・ホームページの運営 ・生涯学習相談の実施

VI 文化・芸術の振興

1 事業計画

(1) 芸術文化事業計画

No.	事業名	目的及び主たる内容	開催時期等	備考(人数)
1	きみつ水と緑のコンサート事業	本市出身の指揮者坂本和彦氏を音楽監督に迎え、期間限定の合唱団を結成し、文化芸術関係団体や子どもたちを交え、音楽を身近に楽しむコンサートを開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	君津市民文化ホール
2	子ども文化育成事業	市内外で活動している、かずさジュニアオーケストラ(KJO)を支援し、子どもたちの豊かな人間性と、芸術文化を育成する。	練習日 毎週日曜日	団員数 50人
3	芸術文化振興事業	君津市文化協会の各部門の事業の推進と充実を図り、市民文化活動の普及と活性化を図る。	通年	12部門 会員約 550人
4	君津市民合唱団育成事業	市民合唱団の団体運営及び活動の充実を促進し、演奏会等の開催を支援する。	練習日 毎週金曜日	団員数 23人
5	きみつ少年少女合唱団育成事業	市内外で活動している、きみつ少年少女合唱団を支援し、子どもたちの豊かな人間性と、芸術文化を育成する。	練習日 毎週 水・土曜日	団員数 47人
6	君津市市民文化振興基金	寄附金等を基金として積み立て、基金の運用から生じる収益を活用し、市民文化の振興を図る。	通年	
7	君津市民文化ホール管理運営委託	市民文化ホールを円滑に運営するため、管理運営を指定管理者に委託し、地域文化の振興及び市民福祉の充実を図る。 指定管理者：(公財)君津市文化振興財団	指定期間 平成29年4月1日 ～ 令和4年3月31日	

8	君津市民文化ホール 自主事業補助金	市民文化ホールの自主事業活動を推進し、さまざまなジャンルの芸術文化を低料金で鑑賞することができるよう自主事業の事業費を助成し、市民文化の振興を図る。	年間事業調整中 こころの劇場：動画配信、スクールコンサート：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 他	
---	----------------------	--	---	--

(2) 文化財保護関係事業計画

No.	事業名	目的及び主たる内容	開催時期	備考
1	文化財審議会	文化財の保護・活用、指定等に関する調査、審議を行う。	現地調査1回、会議2回 6月(現地調査) 11月・1月	委員7名
2	高岩山のサルによる被害防止管理事業	天然記念物「高岩山のサル生息地」と周辺地域のサルによる被害防止に努めるとともに、サルの適正な生息環境の保全と地域住民との共存を図る。 君津・富津両市が「天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団」へ委託	通年 被害防止管理委員会 会議2回 7月(書面開催) 2月	委員14名
3	漁業資料館管理運営事業	施設の点検・整備、資料の保存管理を行い、来館者の利用に供する。	通年	
4	漁業資料館展示普及事業	資料館の展示事業、普及事業の充実を図り、校外学習等の利用を促進する。 ※ノリつけ体験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止中	通年	
5	秋元城跡整備事業	城跡内の除草作業を実施し、来訪者が見学しやすい環境を維持する。	清掃管理2回	
6	指定史跡及び天然記念物管理事業	指定史跡等の清掃管理の助成や、史跡内の樹木剪定を行い、適切な保存管理を行う。 県指定8か所、市指定4か所 県指定「九十九坊廃寺趾」桜樹伐採	清掃管理2回 5月実施	

7	文化財保存周知事業	破損や老朽化した指定文化財の説明板・案内板等の修理を行う。	2か所実施予定	
8	文化財調査室管理運営事業	市直営で実施した発掘調査等の整理・分析及び報告書の作成等を行う。	随時	
9	埋蔵文化財発掘調査事業	現状保存の不可能な埋蔵文化財について、確認調査、本調査を実施し、記録保存を図る。 ・市内遺跡発掘調査 ・民間開発発掘調査 ・公共事業に伴う発掘調査	随時	市直営で実施
10	埋蔵文化財保護と開発との調整及び現状保存の推進	埋蔵文化財保護のため、文化財の有無の迅速な確認、現状保存の理解と啓蒙を促す。また、埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等を実施する際の文化財保護法 93条の事前の届出の徹底を図る。	通年	
11	文化財活用事業	・歴史 Kids 隊 市内の小中学校の児童生徒を対象に、歴史体験学習を行い、郷土史への関心を養う。 ・出土遺物公開展 発掘調査で出土した遺物の活用事業で、民間・公共施設を会場に公開する。また、展示に関連した講演会を開催する。 ・文化財の修理 市所有「松本ピアノ」補修 ・新井白石と地域の関係についての周知活動 ・文化財資料の移動	7月 10月（予定） 随時 通年 随時	

12	スクールミュージアム事業	学校周辺の自然・文化等を児童生徒が地域の有識者や専門家等から指導を受け、学習や体験できる機会を設定する。小櫃小・八重原小・周南小の3校のほか、希望校を募り実施する。	通年	
13	無形民俗文化財保存事業	県・市指定無形民俗文化財保存会の活動を助成し、保存継承と後継者の育成を図る。県指定4団体、市指定4団体	通年	対象 8団体
14	文化財保存整備事業	令和元年9月の房総半島台風で甚大な被害を受けた指定文化財について、所有者が行う災害復旧のための修理事業を助成する。	通年	対象 2件

2 市内指定文化財の状況

【国指定】

No.	名 称	所在地・指定地・伝承地	所有者・管理者	指定年月日
1	神野寺表門	鹿野山324-1	神野寺	T 5. 5. 24
2	高岩山のサル生息地	平田字高岩畑他	千葉県他	S33. 6. 12

【県指定】

3	神野寺本堂（附・厨子）	鹿野山324-1	神野寺	S42. 3. 7
4	木造菩薩面	久留里城址資料館保管	建曆寺	S47. 9. 29
5	木造虚空蔵菩薩立像	蔵玉691	円盛院	S61. 2. 28
6	木造不動明王坐像	根本264	大正寺	H20. 3. 18
7	天正検地帳 天正検地帳	練木 君津市立中央図書館保管	個人 北子安自治会	S57. 4. 6 S57. 4. 6
8	常代遺跡出土の木製品	久留里城址資料館保管	君津市	H18. 3. 14
9	大戸見の神楽	大戸見	大戸見の神楽保存会	S36. 6. 9
10	三島の棒術と羯鼓舞	宿原・奥米・豊英・旅名	宿原・奥米・豊英の各棒術保存会 旅名羯鼓舞保存会	S37. 5. 1
11	鹿野山のはしご獅子舞	鹿野山	鹿野山梯子獅子保存会	S38. 5. 4
12	鹿野山のさんちよこ節	鹿野山	鹿野山さんちよこ節保存会	S38. 5. 4
13	九十九坊廃寺址	内箕輪191	君津市	S10. 12. 24
14	近江屋甚兵衛墓	人見1-11-17	青蓮寺	S29. 12. 21
15	八幡神社古墳	外箕輪4-32	八幡神社	S45. 1. 30
16	道祖神裏古墳	外箕輪1038-1	個人	S54. 3. 2
17	白山神社古墳	俵田1452	白山神社	S56. 3. 13
18	飯籠塚古墳	岩出476他	個人	H 1. 3. 10
19	鐘ヶ淵	内箕輪1-1	巖島神社・君津市	S44. 4. 18
20	三島ノ白檜	豊英	個人	S10. 3. 26
21	三石山自然林	草川原1405他	観音寺	S49. 3. 19
22	長板中形	滝原	松原伸生	H29. 3. 7

【市指定】

23	八雲神社本殿	三直1174	八雲神社	S45. 9. 21
24	附属寺大師堂	六手501	附属寺	S45. 9. 21
25	建曆寺阿弥陀堂	浜子145-1	建曆寺	S45. 9. 21
26	久留里神社本殿	浦田15	久留里神社	S50. 8. 4
27	大日堂	怒田1742-1	怒田自治会	S50. 8. 4
28	平山用水開墾絵馬	久留里城址資料館保管	大原神社	S61. 3. 31
29	空蔵院の涅槃図	南子安2-1-31	空蔵院	H 8. 3. 21
30	木造十一面観世音菩薩立像	人見1-11-17	青蓮寺	S45. 9. 21
31	木造阿弥陀如来坐像	浜子145-1	建曆寺	S45. 9. 21
32	木造聖観世音菩薩立像	根本264	大正寺	S50. 8. 4
33	木造阿弥陀如来坐像	大井戸291	万福寺	S50. 8. 4
34	千体地藏尊	西猪原243	久原寺	S50. 8. 4
35	木造十三仏	黄和田畑 十三仏堂	黄和田畑自治会	H 3. 3. 27
36	萬福寺の欄間彫刻	戸崎1053	萬福寺	H 8. 3. 21
37	鑄銅釈迦如来像懸仏	上876	春日神社	S61. 3. 31
38	鑄銅鱗口（文安六年在銘）	辻森383	瑠璃堂	H 3. 3. 27
39	毘沙門天懸仏	久留里城址資料館保管	大井戸諏訪神社	H19. 3. 29
40	建曆寺縁起書	久留里城址資料館保管	建曆寺	S45. 9. 21
41	新井白石書簡	久留里城址資料館保管	個人	S61. 3. 31
42	天正検地帳	君津市立中央図書館保管	大野台自治会	S63. 9. 20
43	坂東三十三ヶ所巡礼納札	久留里城址資料館保管	大正寺	S61. 3. 31
44	秋広家位牌	清和市場559	本田寺	S61. 3. 31
45	板 碑	久留里城址資料館保管	君津市教育委員会	S61. 3. 31
46	人見神社「神馬」	人見	人見神社神馬保存会	S45. 9. 21
47	六手の神楽ばやし	六手	六手神楽ばやし保存会	S45. 9. 21
48	馬登の獅子神楽	馬登	馬登獅子神楽保存会	S45. 9. 21
49	やぶさめ	北子安	北子安やぶさめ保存会	S45. 9. 21
50	貞元親王墓	貞元375	君津市	S45. 9. 21
51	小山野横穴群	小山野181他	個人	S45. 9. 21
52	土屋家五輪塔	小市部93	円覚寺	S61. 3. 31
53	浅間神社古墳	上新田456	浅間神社	H 8. 3. 21
54	八幡神社古墳の周溝の一部	外箕輪4-127-1他	君津市	H 8. 3. 21
55	賀恵淵の権	賀恵淵168	八坂神社	S50. 8. 4
56	大井戸八木遺跡出土の小銅鐸 及び装飾品	久留里城址資料館保管	君津市	H23. 12. 9

【国登録文化財】

1	旧河内屋店舗及び主屋	久留里市場158-1他	個人	H21. 8. 7
---	------------	-------------	----	-----------

【県記録選択文化財】

1	房州のミカリ習俗	清和市場266	諏訪神社氏子	H 8. 3. 22
---	----------	---------	--------	------------

3 市民文化ホールの概要

優れた音響性を備えた大ホール（1, 200名収容可能）と中ホール（502名収容可能）を有する当館は、平成2年の開館以来、毎年約15万人以上のお客様にご利用いただいております。君津市ならびに近隣地域において、地域文化の発信基地として広く認知されている施設である。さらに県内の各施設と比較しても高い稼働率を持続させており、地域文化の醸成の基幹としてその機能を十分に発揮している。

子どもから大人まで楽しめる多彩な自主文化事業の展開はもちろんのこと、ピアノやダンス、音楽愛好家団体などによる発表会、各種コンサート、講演会などのイベントや、地域住民参加による合唱活動などが年間を通じて開催されている。また、リハーサル室や練習室等の施設においては、説明会や講演会、楽器練習、各種教室などが頻繁に行われており、利用可能な施設や利用時間等に稼働限界が生じるという問題はあるが、指定管理者である公益財団法人君津市文化振興財団の柔軟性を発揮しながら、創意工夫を持って対応している。

新型コロナウイルス感染症の影響はいまだ大きいものの、今後もさらに多くの皆様にご利用いただけるよう、南房総ひいては千葉県内における上質な舞台芸術の鑑賞、市民文化の創造・育成の場として、また、引き続き市民の誇る施設として事業運営を展開していきたい。

令和3年度自主事業

年	公開日	事業名
令和3年	日程調整中	きみぶんシネマ倶楽部（新作及び名作を随時上映）
	5月5日（水祝）	松本ピアノコンサート
	5月16日（日）	虹の音楽会ファミリーコンサート
	7月4日（日）	中島美嘉コンサート
	8月1日（日）	宝くじおしゃべり音楽館
	8月21日（土）	野口五郎コンサート
	8月29日（日）	西村悟&平野和 デュオ・リサイタル
	9月26日（日）	らくごDE全国ツアー春風亭一之輔のドッサリまわるぜ2021
	6月10日（木）	高校演劇 春大会（2日間開催 6/10,11）
	8月12日（木）	きみぶん演劇祭 照明・音響・舞台技術講習会
	10月2日（土）	きみぶん演劇祭（2日間開催 10/2,3）
	10月9日（土）	キエフ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」全2幕
	10月10日（日）	梅沢富美男劇団 君津特別公演～梅沢富美男 魅力の全て～
10月24日（日）	アニソンBIG3 スーパーライブ 水木一郎 堀江美都子 影山ヒロノブ	
11月23日（火祝）	県民芸術劇場君津公演 千葉交響楽団演奏会	
令和4年	2月27日（日）	伝統文化 和太鼓を次世代に伝える ～伊能忠敬の心と共に～
	3月6日（日）	LIVE FOREST 2022
	日程調整中	ベリーグッドマン コンサートツアー2021、村治佳織&村治奏一 ギターデュオ・リサイタル、松本ピアノコンサート、かずさジャズフェスティバル、ファミリーコンサート、お笑いライブ

4 久留里城址資料館の概要

(1) 運営方針

開館から42年目を迎え、令和2年度末で入館者数は96万5,000人を突破している。本年度も登録博物館である教育施設として、学術・文化の拠点としての資料館運営に努めていく。

- ① 久留里城及び市内の文化遺産について、来館者の興味や関心を喚起する展示・解説に努めるとともに、社会教育や学校教育との連携を図り、新たな学びの環境を整える。
- ② 博物館の根幹的業務である資料の「収集・保管」「調査研究」を基礎的活動とし、活用のための展示活動・教育普及事業・情報提供等の内容充実に努める。
- ③ 博物館・教育機関としての活動を強化するとともに、観光・商業を含めた地域のまちづくりとの連携にも配慮し、利用促進に努める。

(2) 令和3年度主要事業

事業名		内容
展 示	常設	ふるさとの歴史と自然をたずねて 久留里城の関連資料及び市の文化遺産を展示・解説する。
	企画	「きみつのひみつ展」 市制施行50周年にちなみ、君津市の誕生や君津の自然・歴史・文化などのエピソードを、市内13か所を会場に巡回パネルを展示する。 資料館会期：10/16(土)～12/5(日)
	画	ミニ展示 久留里城や市域の歴史にちなんだテーマをもうけ、関連の収蔵資料などを紹介する。
教 育 普 及	資料館講座	久留里城や市域の歴史・自然・民俗に関する講座を実施し、地域への理解を深める。
	資料館講座 －城を歩こう－(予定)	久留里城の歴史と関係する君津市周辺の中世城郭をめぐり、その構造や歴史について学ぶ。
	資料館講座 －森林鉄道の軌道を歩く－(予定)	林業の盛んだった市城南東部の森林鉄道跡を訪ね、歴史を確認する。
	博学融合事業	学校の校外学習等との連携・協力を図る。
	「久留里城址資料館年報42号」発行	令和元年度事業の成果や研究を報告。
	「久留里城址資料館だより52号」発行	資料館事業の広報、収蔵資料等を紹介。
調 査	令和3年度企画展に関する調査	企画展関連の資料に関する調査。
	令和4年度企画展に関する調査	次年度企画展に向けた資料調査。
収 集 保 管	資料の貸出、撮影等の利用許可	他の博物館等への貸出、撮影等の利用管理。
	資料保存業務	収蔵・展示資料の環境調査、保存管理。

5 漁業資料館の概要

(1) 開館の経緯と現状

漁業資料館は昭和63年(1988年)5月23日に開館し、今年度で34年目を迎えた。資料館の管理運営については、開館から平成17年度まで漁業資料保存会(平成19年3月に解散)が担ってきたが、会員の高齢化によって平成18年度から市の直営となっている。日常業務については、会計年度任用職員2名の交代制勤務で対応している。

資料館で保管する資料は、常設展示資料が268点(文書資料7、近江屋甚兵衛資料5、海苔資料125、沖漁資料85、造船用資料34、その他12)、収蔵庫保管資料が15,381点(漁業関係資料179、一般文書史料54、君津町漁業共同組合文書史料15,148)。これらは、漁業資料保存会が長年かけて収集してきたもので、市の漁業史を語るうえで欠くことのできない貴重な財産である。資料の適正な保存を図るため、資料への害虫等の被害を未然に防ぐ策を講じていく。

令和2年度の資料館の入館者数は、338人で、団体利用は4団体77人(小中学校2団体50人、その他団体2団体27人)であった。ノリつけ体験については、受付を休止した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として臨時休館したため、開館予定日数293日のうち193日のみの開館となり、入館者数が減少した。

(2) 運営の基本方針

千葉県内で初めてノリ養殖に成功した場所が、君津市人見地区であるという歴史的事実を、来館者が理解できるよう展示・紹介する。

(3) 運営と事業の重点目標

- ① 感染症拡大防止対策を取りながら、資料館活動の充実に努める。
- ② 定期的な清掃等を実施し、資料の適切な保存環境を整える。

(4) 事業計画

No.	事業名	内 容	実 施 日	場 所	備 考
1	常設展示	ノリ養殖の発祥とその歩み	通年	2階 展示室	<休館日> 月曜日、祝日、 年末・年始
2	ノリつけ体験	体験をとおして、ノリができる工程を学ぶ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、休止中	通年 但し要予約	1階 ピロティ	※原則10人以上で申し込み可能

※令和2年度の入館者数338人(市内132、県内169、県外37)

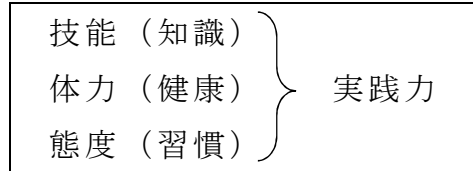
[入館者数累計61,574人、開館日数9,518日]

Ⅶ 体 育 振 興

1 学校体育の充実

心と身体を一体としてとらえ、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てることを目標とする。そのため、個に応じた体育・スポーツ活動のため、小学校期は育てる体育、中学校期は鍛える体育の推進を図り、

- ① たえよう
- ② がこう
- ③ よくて丈夫な心と身体づくり



を目指します。

(1) 体力向上プロジェクト事業

市内小中学校の児童生徒の健康・体力づくりに関する現状を把握し、課題解決に向けて、取り組みの方向性を提示する。

- ① 児童生徒の発育発達を踏まえ、「育てる体育」（小学校期）から「鍛える体育」（中学校期）へと段階的な指導を展開する。
- ② 体力と健康は一对であるという考えの基、丈夫で強い心と身体づくりの推進に向け、各校体力向上推進組織の充実を図る。
- ③ 学校教育活動全体を通じて体育指導の充実と体力・運動能力の向上を図る。
- ④ 児童生徒の体力・運動能力の向上を図るため、小中学校体育連盟の各種事業を支援、補助していくとともに、市体育協会や市内スポーツ少年団と連携・協力し、各種活動の推進や普及に努める。

(2) 運動部活動地域連携事業の推進

複数校による合同練習会を実施し、運動部活動を通して、児童生徒のニーズに応じた活力ある部活動を推進し、強い心を身につけさせ、体力の向上や技能の習得を図る。他校との連携に伴い、将来への地域での生涯体育の基礎を培う。

(3) 君津市立学校体育活動指導補助者活用事業の推進

学校や地域・家庭のニーズに対応するため、学校体育活動全般に指導補助者を派遣し、地域で支える学校体育活動を推進する。

さらに、小中学校の体育的行事や体育授業、各種大会に向けての練習会等への派遣も含め、地域の指導者の積極的な登録と人材の有効活用に努める。

(4) 事業計画

月	事業内容
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・君津支部小学校陸上競技記録会 ・体力向上プロジェクト委員会 ・ライオンズクラブ主催運動能力章第1回代表者会議
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・君津支部中学校陸上競技記録会 ・学校体育活動指導補助者養成講座
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・君津支部総合体育大会（中学校） ・千葉県総合体育大会 ・夏期ラジオ体操会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中体連全国・関東大会出場選手激励会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・君津支部中学校新人陸上記録会 ・君津支部中学校新人体育大会 ・体力向上プロジェクト委員会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・君津支部中学校駅伝・ロードレース大会 ・ライオンズクラブ主催運動能力章第2回代表者会議
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県中学校駅伝大会 ・千葉県学校体育研究大会 ・ライオンズクラブ主催運動能力章学校賞表彰式
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県運動能力証
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・君津支部小中体連優秀選手・優秀監督表彰 ・体力向上プロジェクト委員会 ・ライオンズクラブ主催運動能力章第3回代表者会議

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、延期・中止等の変更あり

2 生涯スポーツの充実

(1) 運営方針

生涯スポーツを推進するため、各種の大会やスポーツ教室を開催し、市民の健康・体力増進を図る。

(2) 事業計画

月	事業内容
7月	・夏期ラジオ体操会
9月	・第21回君津市3×3バスケットボール大会 ・君津グラウンド・ゴルフ大会
10月	・市民体育祭（北子安） ・君津地区スポーツ・レクリエーション祭（スポーツ大会）
12月	・第21回君津市中学生野球教室 ・第20回君津市中学生サッカー教室
1月	・第50回君津ニューイヤーマラソン大会
2月	・第42回君津なわとび大会

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、延期・中止等の変更あり

資 料 編

1 学校給食共同調理場の概要

令和3年5月1日現在

区 分	君津市学校給食共同調理場		
所在地	君津市中島 364 番地 1		
電話番号	0439-32-5522		
敷地面積	9,112.59 m ² (調理場用地 7,698.52 m ² 駐車場用地 1,414.07 m ²)		
延床面積	3,724.80 m ² (調理場 3,627.52 m ² ホール室 89.25 m ² ホンブ°室 8.03 m ²)		
竣工年月	平成 31 年 2 月		
調理能力	6,700 食		
給食開始日	平成 31 年 4 月 10 日		
対象学校名	八重原小 南子安小 外箕輪小 周南小 小糸小 君津中 周南中 周東中	周西小 坂田小 大和田小 北子安小 貞元小 周西中 周西南中 八重原中	小櫃小 上総小 清和小 上総小櫃中
給食実施数	5,802 食 (5/6 実施数)		
職員数	10 人		
(栄養士及び会計年度任用職員含む)			
車両台数	13 台 (うち 2 台は連絡用車両)		

2 社会教育施設等の状況

(1) 公民館の概要

公民館名	生涯学習交流センター (君津中央)	八重原	周西	周南
所在地	久保2丁目13番2号	南子安9丁目17番2号	人見4丁目11番21号	大山野26番地
開館年月日	昭和39年11月20日 (平成21年4月1日)	平成9年4月1日	平成18年5月14日	昭和48年6月28日
人口(R3.3月末現在)	15,682人	24,524人	14,900人	6,270人
敷地面積	6,495.68㎡	7,286㎡	6,000㎡	12,484.06㎡
建物延面積	2,714.34㎡	1,875.6㎡	1,058.95㎡	841.9㎡
構造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨3階建	木造平屋建	鉄筋コンクリート 一部鉄骨鉄筋平屋建	鉄筋コンクリート2階建
部屋数	多目的ホール1 (最大収容人数250人) 事務室1 ギャラリー1 情報コーナー1 子どもセンター 児童室・保育室1 調理室1 工芸室1 会議室8 和室2	レクリエーションホール1 (最大収容人数300人) 事務室1 館長室1 講座室1 茶室1 研修室1 工芸室1 ギャラリー1 会議室2 調理実習室1 保育室1 コモンスペース1	ホール1 (最大収容人数180人) 事務室1 会議室5 和室2 ギャラリー1 調理室1	講堂1 (最大収容人数200人) 事務室1 図書室1 研修室1 会議室2 調理実習室1
付属施設	防災倉庫1		防災倉庫1	弓道場1 防災倉庫1 遊歩道1 ゲートボール場1
駐車台数	140	60	99	70
総工費	1,125,301千円	752,837千円	380,778千円	109,905千円
職員構成 (令和2.4.1現在)	所長(兼)館長 (兼)貞元分館長1 社会教育主事 (兼)公民館主事1 主任主事(兼)2 主任主事(兼)1(再任用) 主事(兼)1 家庭教育指導員1 ※(兼)は君津中央公民館職員を兼ねる	館長1 副館長1 主任主事2	館長1 副館長1 副主査1 主任主事1 公民館主事1	館長1 副館長1 主任主事1 司書1
公民館運営審議会委員	12人			

(2) 図書館の状況

名称	管内人口(人) 令和3.3.31	施設の内容			
		独立・併設	面積(㎡)	座席数	蔵書数R3.3.31
中央図書館	(82,748)	独立	4,446	718	440,120
周南分室	6,270	併設	32	6	7,641
小糸分室	7,815	併設	48	6	8,327
清和分室	2,521	併設	36	4	7,576
小櫃分室	4,748	併設	41	0	8,071
上総分室	6,288	併設	99	4	16,547
市民体育館分室	-	併設	220	12	26,217
移動図書館	-				11,539
計	82,748		4,922	750	526,038

(3) 社会教育関係団体 (令和3.4.1現在)

団体名	構成
文化協会	12部門 550名
君津市子ども会育成連絡協議会	5団体 100名
君津市婦人会連絡会	2団体 176名
君津市PTA連絡協議会	20団体 4,714名

(4) 青少年相談員 107人 (令和3.4.1現在)

地区担当	人数	地区担当	人数
君津地区	11	八重原地区	14
小糸地区	14	清和地区	11

小 糸	清 和	小 櫃	上総地域交流センター (上 総)
糠田55番地	西栗倉57番地	末吉128番地	久留里市場192番地5
昭和46年7月20日	昭和47年7月28日	昭和49年12月20日	昭和44年10月1日 (平成22年10月12日)
7,815人	2,521人	4,748人	6,288人
9,051.9㎡	9,690.3㎡	6,613㎡	3,125.93㎡
1,485.1㎡	(本館) 1,237.4㎡ (ホール) 369.2㎡	1,273.6㎡	2,313.05㎡
鉄筋コンクリート2階建	(本館) 鉄筋コンクリート2階建 (ホール) 鉄骨平屋建	鉄筋コンクリート一部2階建	鉄筋コンクリート4階建
講堂 1 (最大収容人数280人) 事務室 1 図書室 1 会議室 2 講義室 1 和室 2 工芸室 1 研修室 1 調理実習室 1 こいとプレイルーム 1	ホール 1 (最大収容人数300人) 事務室 1 図書室 1 講義室 1 研修室 2 和室 4 会議室 2 調理実習室 1	講堂 1 (最大収容人数300人) 事務室 1 図書室 1 会議室 1 和室 2 研修室 2 講義室 1 茶室 1 調理実習室 1	多目的ホール 1 (最大収容人数210人) 事務室 1 図書コーナー 1 児童室 1 調理室 1 和室 1 工芸室 1 小会議室 2 会議室 2 ふれあいホール 1
テニスコート1防災倉庫 1 小糸行政センター	テニスコート 2 清和行政センター	防災倉庫1 小櫃行政センター	上総行政センター 東部土木事務所
50	30	50	41
209,335千円	322,286千円	280,012千円	848,547千円
館長 1 副館長 1 公民館主事 1 主事 1	館長 1 副館長 1 公民館主事 1 主事 1	館長 1 副館長 1 主任主事 1 公民館主事 1	所長 (兼) 館長 1 主幹 (事) 副所長 (兼) 副館長 1 社会教育主事 (兼) 公民館主事 1 主事(兼) 2 松丘分館長 1 亀山分館長 1 ※(兼)は上総公民館職員を兼ねる
8人		8人	

令和2年度利用状況		図書資料予算額 (千円)	週当り開館 時 間 数	週当り開館 日 数
登録人数(人)	貸出冊数 (冊)			
20,273	326,818	19,967	49	6
123	426	275	56	7
109	1,112	275	56	7
102	403	275	56	7
207	1,649	275	56	7
392	3,544	440	56	7
3,207	5,632	330	42	6
3,174	17,149	1,650	2週間に31ヶ所運行 (R. 4. 1現在)	
27,587	356,733	23,487		

備 考
各部門とも、いくつかの部会に別れて活動。

地 区 担 当	人 数	地 区 担 当	人 数
周 西 地 区	10	周 南 地 区	11
小 櫃 地 区	12	上 総 地 区	24

3 学校体育施設開放利用状況の推移

【小学校】

学校名	施設	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
		開放回数	利用人員	開放回数	利用人員	開放回数	利用人員	開放回数	利用人員	開放回数	利用人員
八重原	校庭	139	5,659	132	4,210	101	4,238	81	3,786	53	2,862
	体育館	312	6,417	276	6,102	273	8,344	245	6,877	139	3,943
南子安	校庭	120	5,000	109	4,360	113	4,520	98	3,920	40	1,200
	体育館	794	14,931	773	12,902	332	13,165	305	13,238	194	7,877
周西	校庭	99	4,360	121	2,698	96	3,554	91	3,002	62	2,585
	体育館	427	7,503	458	10,425	302	9,260	254	8,879	124	4,389
大和田	校庭	162	7,095	149	6,602	99	6,170	77	5,390	75	3,956
	体育館	381	9,990	519	10,684	344	12,738	307	12,731	133	3,858
坂田	校庭	0	0	0	0	14	300	62	1,240	50	1,000
	体育館	69	2,006	226	3,094	208	3,430	258	4,713	165	2,423
貞元	校庭	91	5,940	99	4,920	113	5,180	115	11,500	66	5,830
	体育館	408	6,791	439	7,724	275	6,596	257	6,185	146	3,470
周南	校庭	95	1,985	73	1,477	72	1,279	89	1,563	47	1,600
	体育館	222	5,388	250	4,920	214	4,345	205	4,212	111	2,171
中	校庭	192	7,085	198	6,930	90	4,611	84	3,175	48	1,594
	体育館	497	13,485	452	12,665	344	12,835	307	7,410	180	4,265
小糸	校庭	114	6,202	100	5,002	95	4,346	78	1,889	20	155
	体育館	12	162	123	1,492	178	2,103	164	1,813	92	1,132
秋元	校庭	0	0	35	645	7	102	1	5		
	体育館	4	38	72	1,065	83	1,313	147	1,930		
三島	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	5	85	49	655	53	787	38	702	102	1,449
小櫃	校庭	112	2,451	89	1,721	68	1,455	30	396	4	103
	体育館	308	6,317	301	5,886	255	4,662	192	3,270	107	1,572
久留里	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	0	0	181	2,672	129	2,339	87	1,687	30	356
松丘	校庭	31	389	33	470	25	444	25	445	13	239
	体育館	144	1,936	85	822	63	729	58	885	8	150
坂畑	校庭										
	体育館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北子安	校庭	95	7,268	96	7,750	104	5,646	61	3,798	58	4,124
	体育館	483	9,107	477	8,492	299	8,826	280	8,812	193	8,648
外箕輪	校庭	140	3,280	196	2,938	145	2,692	112	2,374	65	1,803
	体育館	407	7,495	385	6,784	305	8,607	263	7,646	163	4,888
計	校庭	1,390	56,714	1,430	49,723	1,142	44,537	1,004	42,483	601	27,051
	体育館	4,473	91,651	5,066	96,384	3,657	100,079	3,367	90,990	1,887	50,591

【中学校】

学校名	施設	28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度	
		開放回数	利用人員	開放回数	利用人員	開放回数	利用人員	開放回数	利用人員	開放回数	利用人員
君津	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	470	8,802	579	8,480	323	8,363	301	7,911	104	2,768
八重原	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	554	9,763	537	9,292	351	8,192	131	2,750	22	250
周西	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	261	3,607	302	3,910	230	3,292	220	3,319	181	2,979
周西南	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	304	4,923	243	3,442	177	3,171	157	2,159	17	172
周南	校庭	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	180	3,901	229	4,367	220	5,438	197	5,376	141	3,626
小糸	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体育館	421	12,278	352	10,252	315	9,295	293	7,982	97	1,346
清和	校庭	0	0	0	0	0	0				
	体育館	82	764	134	1,020	85	1,059				
小櫃	校庭	4	3,180	0	0	0	0	2	30	0	0
	体育館	520	12,677	293	5,050	272	6,390	216	4,480	139	2,399
久留里	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0		
	体育館	29	658	1	20	1	15	12	111		
松丘	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0		
	体育館	17	272	42	588	10	139	0	0		
亀山	校庭	0	0	0	0	0	0	0	0		
	体育館	119	1,252	118	1,228	218	2,442	129	1,360		
計	校庭	5	3,230	0	0	0	0	2	30	0	0
	体育館	2,957	58,897	2,830	47,649	2,202	47,796	1,656	35,448	701	13,540

4 スポーツ広場利用状況一覧表

施設名	項目	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
小糸スポーツ広場 (野球場)	利用回数	98	99	90	91	55
	利用人員	7,035	7,375	9,341	7,689	2,889
小糸スポーツ広場 (自由広場)	利用回数	39	40	51	49	49
	利用人員	414	368	498	410	468
清和スポーツ広場 (庭球場)	利用回数	9	1	1	0	0
	利用人員	55	4	4	0	0
小櫃スポーツ広場 (野球場)	利用回数	164	173	166	170	112
	利用人員	2,740	5,500	8,263	7,446	2,932
小櫃スポーツ広場 (ゲートボール場)	利用回数	16	17	7	3	15
	利用人員	1,123	994	604	205	139
久留里スポーツ広場 (野球場)	利用回数	126	152	155	139	75
	利用人員	5,422	4,819	5,876	5,299	1,478
久留里スポーツ広場 (庭球場)	利用回数	0	0	1	0	0
	利用人員	0	0	110	0	0
松丘スポーツ広場 (野球場)	利用回数	35	47	80	52	72
	利用人員	1,679	1,916	2,533	1,319	1,249
松丘スポーツ広場 (ゲートボール場)	利用回数	9	13	10	6	11
	利用人員	790	512	795	380	431
松丘スポーツ広場 (多目的広場)	利用回数	135	60	99	108	80
	利用人員	7,816	5,255	7,327	4,677	1,225
君津グラウンド・ゴルフ場	利用人員	13,710	14,625	13,948	12,216	8,322
久留里市民プール	利用人員	2,371	2,000	2,710	2,887	0
貞元仮運動場 (野球場)	利用回数	317	0	0	0	0
	利用人員	7,399	0	0	0	0
貞元仮運動場 (サッカー場)	利用回数	227	461	422	363	261
	利用人員	12,450	13,857	12,933	10,424	6,074
合 計	利用回数	1,175	1,063	1,082	981	730
	利用人員	63,004	57,225	64,942	52,952	25,207

令和3年度 きみつの教育

令和3年10月発行

発行 〒299-1192

君津市久保2丁目13番1号

君津市教育委員会

編集 教育部 教育総務課

電話 0439-56-1456

